1．総　　括

㈶せたがや文化財団は、平成20年４月で設立５年目の節目を迎え、財団設立の目的である、「世田谷区において幅広い文化事業を展開するとともに、区民の多様な文化創造活動・市民活動・交流活動を支援し、地域文化の振興と、心豊かな地域社会の形成に寄与すること。」を再度見つめ直す平成20年度の事業展開であった。そしてその上でさらに、各種事業の拡大や充実をより一層積極的に行ってきた年でもあった。

⑴　財団全体としての取り組み

平成18年度に公益法人制度改革関連３法案が成立し、平成20年12月１日から施行されたことにより、財団も大きな局面に立たされている。この状況の中、更なる経営の効率化や事業の充実を念頭に置きながら、世田谷文化生活情報センター、世田谷美術館及び世田谷文学館、音楽事業部の管理運営をおこなうとともに、『世田谷区文化・芸術振興計画』に基づき重点事業の取り組みを区と一体となって推進した。

また、各館の技術協力、設備貸与はもとより、「（特別展）平泉～みちのくの浄土～」や「没後５年　宮脇俊三と鉄道紀行展」「春琴」など多くの方々から幅広い支持を獲得する事業を展開するとともに、創設２年目の音楽事業部も、世田谷の特色を生かした、肩の凝らない楽しいイベントを世田谷の各施設で展開してきた。

⑵　財団事業

世田谷文化生活情報センター（生活工房）

第２号事業（区民の自主的な文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業）

共通のテーマとして「デザインは社会を豊かにする」を掲げて事業を展開した。「ラップ・ザ・セタガヤ～世田谷の包み紙展」、「世田谷でみかけた書体展」はともに世田谷の地域的な魅力に注目し、生活に密着するデザインのわかりやすい例として好評を得た。20年度は生活工房以外の場所でワークショップを実施した事業も多く、「Touching the Images～ふれる写真展」は都立久我山盲学校の生徒たちと写真表現の楽しみを分かち合い、メディアにも好評を得た。「眞田岳彦セタガヤーンプロジェクトvol.２」では区内の８つの小中学校の生徒と区民とともに棉を栽培し、つむいだ糸を「棉の森展」で披露した。「こども体験ワークショップ」シリーズは、区の「あそびとまなびの子どもプロジェクト」の一環として「はこぶ道具～プロダクトデザインをはじめよう！」や多摩美術大学の暗室で開催した「まっくらやみで写真をつくろう！」をはじめとして、年間で８企画実施した。連続セミナー「日本の伝統文化とエコロジー」は、「辻留」の辻義一氏をはじめとした達人を講師に迎え、用の美と環境の調和について考えた。

第３号事業（市民活動の支援及び振興に関する事業）

地域の文化活性化を目指している団体と協力して開催した「世田谷アートフリーマーケット（通称『アートフリマ』）」は文生センターの全フロアを使った大規模なアートイベントで、春秋２回で合計２万４千人が来場した。文生センター３階の市民活動支援コーナーは、平成18年度秋から区内の市民団体に管理運営を委託しているが、20年度はより多くの団体に利用してもらうことを目指して「パオフェスタ」と「市民活動支援コーナーの日々展」を開催した。複数の団体が協力して一つの企画を作り上げる土壌ができてきた。また、利用団体の満足度評価が高くなってきた。

第４号事業（国際的な文化交流及び市民交流の推進に関する事業）

「月のへそ～荒木珠奈と七色メキシコ展」はメキシコのアートとクラフトの魅力を体感する大型事業であった。本展に先立って日本とメキシコでワークショップを開催し、両国の文化交流を深めた。若い世代と国際協力を考える「国際教育プログラム」では世田谷区に在日大使館があるタンザニアを取り上げ、大使館をはじめ青年海外協力隊ＯＢの協力を得て国際協力と異文化への理解を深めた。市民交流推進事業としては、世田谷在住の留学生の研究発表会「JAPONDER」が５回目の開催となり、シリア、コロンビア、ドイツ、中国などの学生たちが自国の文化紹介も含めて発表した。彼らの料理講習会も好評であった。

第５号事業（区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営）

芸術百華参加事業として「アートフリマinセタビ」（世田谷美術館）、「せたがやdeかえっこバザール」（国士舘大学キャンパス）を実施した。また、中学生を対象とした「才能の芽を育てる体験学習」受託事業では理科系・工学系の体験型ワークショップと地球環境を学ぶ座学を組み合わせた「ハイブリッドバギー『世田谷１号』組み立て教室」を実施した。

世田谷文化生活情報センター（世田谷パブリックシアター）

第１号事業（文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究）

活動の指針である「レパートリーの創造」を柱に事業を行った。平成17年度に上演し好評を博したポール・オースター作・白井晃構成・演出『偶然の音楽』を再演、また、日本の戯曲を若い演出家が新たな視点で演出する枠組みでは安部公房作『友達』を岡田利規演出により上演し、両作品とも演劇のみならず文学に関心をもつ層をはじめ、広く話題を集めた。また、新シリーズのリーディング公演『日本語を読む』では若手演出家９人が日本の名作戯曲９作品を演出し、広く若手アーチストに機会を与えたと評価を得た。さらに、古典芸能をパブリックシアターの能舞台の上で新たな切り口で上演する試みでは、『能楽現在形　劇場版@世田谷』では芸術監督新演出による能『舎利』を、『狂言劇場』では民話に基づく木下順二作『彦市ばなし』を上演した。「こどもの劇場」ではテレーザ・ルドヴィコ演出による『にんぎょひめ』を主劇場版として再演し、国内ツアーも行った。また、公共劇場との連携

事業としてまつもと市民芸術館制作による『ピランデッロのヘンリー４世』を上演した。

第２号事業（区民の自主的な文化活動の支援及び教育普及に関する事業）

教育普及プログラムでは、学校の休み期間等にこどもを対象に開催する演劇ワークショップや、毎土曜朝の舞台芸術体験プログラムである「土曜・劇場プレイパーク」など、劇場に呼び込む型の事業も定着した。区内小学校への参加型演劇公演「うっかりちょっときのこ島」の出前や、オーダーメイドの演劇ワークショップを学校に出前する「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」など、区内小中学校に出向く型の事業と併存させて、対象に合わせた演劇やダンスのワークショップを通年開催した。アマチュア舞台芸術愛好家の区民が舞踊や音楽の練習の成果を発表する「フリーステージ」では過去最多の700人以上が参加、演劇部門はこれまでより長い期間を用意し「シアタートラム・ネクストジェネレーション」として若手劇団３つの公演を行った。人材育成事業としては「パブリックシアターのアーツマネジメント研修」で６名の研修生を育成したほか、上演作品レクチャーや演劇ワークショップをめぐるシンポジウムなど、演劇文化の間口を広げる事業も多数行った。「地域の物語」では区民が世田谷区内を取材し、今年は「カフェ」をテーマに発表公演を行った。

第４号事業（国際的な文化交流及び市民交流の推進に関する事業）

国際的な事業としては、平成19年度に初演し、読売演劇大賞優秀作品賞を受賞したサイモン・マクバーニー演出「春琴」（谷崎潤一郎の「陰影礼賛」「春琴」より。イギリスの劇団コンプリシテとの共同製作）を、ロンドン公演に続き、東京で再演した。芸術監督企画「現代能楽集シリーズ」第４弾、「The Diver」（野田秀樹作・演出）をロンドンのソーホーシアターと国際共同制作し、ロンドン、東京と上演した。また、ベルギーの若手ダンスカンパニー「ピーピング・トム」を招聘、国内３都市へツアーを行ったほか、オーディションを経た区民が出演するなど意義深い公演となった。

第５号事業（区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営）

区立小学校６年生全員を対象にした狂言の体験ワークショップと鑑賞をあわせた「古典芸能鑑賞教室」には約6000人の６年生が参加、区立中学生を対象にした「才能の芽を育てる体験学習事業」である、ジャズトランペッター日野皓正校長率いる「ドリームジャズバンドワークショップ」には４月から８月の発表会まで毎週末の練習に約50人の中学生が熱心に参加した。区による「文化及び芸術の振興に関する条例」の取組に連携し、芸術百華プログラムの一環として、三軒茶屋商店街との共同開催「三茶de大道芸・出前編」、「全国子ども文化・芸術サミット」を開催した。また、日本語特区に協力しての教師用ワークショップ研修を夏休みに行った。

世田谷美術館

第１号事業（文化芸術の振興に資する展覧会、公演などの企画・実施及び調査研究）

「冒険王・横尾忠則」展、「山口薫展」では、世田谷ゆかりの２人の対象的な作家の画業を紹介した。横尾忠則展は、60年代の活動を知る年代層から、改めて横尾作品に触れた若者層まで、幅広い関心が寄せられ、全館使った活気に溢れる展覧会となった。一方、山口薫展は、油彩画の良さをしみじみと感じさせる展覧会として好評を博した。

「建築が見る夢―石山修武と12の物語」展、「ダニ・カラヴァン展」では、世田谷に実験的な自邸を持つ石山修武のチャレンジングな建築思想と、大規模な環境彫刻の芸術家として知られるイスラエルの作家、ダニ・カラヴァンの全貌を紹介した。石山修武展は、展覧会自体が日々生成していくユニークな内容となり、一方、ダニ・カラヴァン展は初期の絵画から環境彫刻に至る軌跡を紹介し、ともに若い世代を中心に、深い感銘を与えた。

展示内容の充実・経費の削減・観客動員数の拡大という観点から「十二の旅：感性と経験のイギリス美術」展では、他の美術館と協力して企画を立ち上げることにより、内容の充実・経費の削減を図り、次年度へ会期がまたがる「平泉～みちのくの浄土～」展では、ＮＨＫとの共催により、日本人の心の源泉に触れる展覧会として非常に多くの来館者を得た。

第２号事業（区民の自主的な文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業）

区立の全小中学校を対象とした鑑賞教室と、年々希望校が増えている事前授業（特別プログラム）については、改めて新鮮な気持ちで事業に取り組み、昨年同様鑑賞教室の期間を年度内一杯まで拡大した。ボランティア（鑑賞リーダー）との協働による、子供たちを対象とした夏休みの鑑賞ガイドや100円ワークショップは好評を得ており、各種ワークショップや成人を対象とした年間講座・美術大学、教師のためのセミナーやプロムナードコンサート、映画上映会、パフォーマンスなど、多ジャンルにわたる催し物も数多く開催した。

地域との交流活動としては、ボランティアとの協働により砧公園に桜が咲く時期に合わせた「さくら祭」を開催したほか、美術館近隣の用賀サマーフェスティバル、砧地区緑化まつりなどにもボランティアと共に参加した。

また、分館／宮本三郎記念美術館の講座室活動は、地元と連携を一層充実させ、地元の人材発掘なども含め、地域の人々から愛され支えられる体制が一層強固になりつつある。

第５号事業（区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営）

受託事業としては本館で、「遊びと学びの子どもプロジェクト」参加プログラムの一環として、「チルドレンズ・ミュージアム　物語が聞こえる－ぼくたちのお気に入り」展を開催した。また、特別展示として、ベルギーで長年の間、障害をもつアーティストの活動支援を行っている「クレアム」の作品140余点を合わせて紹介する「アウトサイダー・アートの作家たち」展を開催した。第３期収蔵品展としては、世田谷ゆかりの夭逝の画家・難波田史男の作品を展示した。

分館／清川泰次記念ギャラリーでは、引き続き洋画家による写真の展示が好評を博すとともに、向井潤吉アトリエ館、宮本三郎記念美術館において、画家の書籍の仕事や蔵書にスポッ

トを当てた展示が新しい視点として注目を集めた。

世田谷文学館

第１号事業（文化芸術の振興に資する展覧会、公演などの企画・実施及び調査研究）

春の「ファーブル昆虫記の世界」展は、フランスのファーブル記念館の協力で新資料を公開、来館者の興味をひく演出に工夫を凝らした。自然科学の分野にはじめて取り組んだ本展は、『昆虫記』の魅力に加えて身近な自然を見つめ直す機会を提供した。夏の「没後５年 宮脇俊三と鉄道紀行展」は、鉄道紀行の第一人者・宮脇俊三の没後初の展示がマスコミでも大きく紹介され、会場は連日宮脇作品の愛読者が多数来場、特に鉄道模型の運転会「玉電、世田谷文学館を走る！」開催日は親子連れで賑わった。秋の「宮尾登美子展」は、運命や時代に翻弄されながらも力強く生きる女性を真摯に描く宮尾文学を多面的に紹介する展示が評価された。冬の絵本展「進める荒井良二のいろいろ展」は、作家自身のアイデアを活かした展示や当館で制作した絵画作品、立体作品が評判となり若い人や家族連れの集客に結びついた。

調査研究の成果は、『文芸せたがや』28号所収の「文学作品の中の世田谷」や「世田谷文学館ニュース」の収蔵品紹介のコーナーで発表した。

第２号事業（区民の自主的な文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業）

教育普及事業は、子ども向け事業、区民の生涯学習支援事業、世田谷区教育委員会との共催事業など多彩な事業を展開した。

ジュニア世代を対象とした「土曜ジュニア文学館」では、教科日本語に対応した詩や百人一首などのプログラムを設け、「移動文学館」は文学作品を題材とした写真パネルを区内小中学校13校に貸出、その内６校ではワークショップを行うなど事業の充実を図った。区教育委員会との連携による「子ども読書の日講演会」「学校ボランティア研修講座」「子ども読書活動推進フォーラム」も実施した。「韓国文化週間」は、韓国の詩人による朗読会や韓国伝統楽器のコンサートなどを実施した。「第10回世田谷フィルムフェスティバル」は、日本映画界をリードした名監督・市川崑を特集、文化庁の助成を得て多彩な上映プログラムで市川映画の魅力を紹介した。区民の文芸活動を応援する「世田谷文学賞」は、児童生徒からの応募が多く短歌・川柳部門で小学生が入賞、縁組協定を結ぶ川場村からの入賞者も誕生した。

第５号事業（区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営）

区からの受託事業では、常設展示「文学に描かれた世田谷100年の物語」を実施した。区との共催による「世田谷芸術百華」は重点事業「全国子ども文化・芸術サミット」に参加、地域との連携事業「世田谷線の小さな旅」は好評を博した。

第６号事業（文化振興・交流に関する事業に付帯する物品及び飲食物の販売事業）

ミュージアムショップでは、企画展や催事に対応したコーナー、世田谷コーナーを設け、利用者満足度のアップと収入の確保に努めた。

音楽事業部

第１号事業（文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究）

「せたがやふれあいコンサート」では、「オペラってフシギ…」をテーマにオペラの名曲の数々を、音楽監督・池辺晋一郎の楽しい解説を交えて行った。音楽以外の分野とのコラボレーション企画では、「美術と音楽〜ギリシャからせたがやへ〜」と題し、昨年のローマ編に続き国立西洋美術館青柳正規館長と池辺晋一郎のトークに映像を交えて、ギリシャにまつわる音楽を紹介した。室内楽演奏会シリーズとしては、世田谷にまつわる演奏家を中心とした「せたがやの演奏家シリーズ」として、ヴァイオリン奏者三浦章弘、チェロ奏者苅田雅治それぞれを中心とした演奏会や、日本を代表するサクソフォン四重奏団トルヴェール・クヮルテットによる「New Year Concert 2009」を開催した。駅前広場やロビー等で開催する入場無料の「まちかどコンサート」は４回行った。「せたがや童謡コンサート」では、プロの歌手と公募による子どもたちとのコーラスとで、世代を越えて親しみのある童謡の世界を楽しんでもらう世田谷独自の企画を行った。「せたがや名曲クラシックコンサート」では、世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団を中心とした演奏会で、ヴェルディ作曲の「レクイエム」を田中良和氏の指揮で演奏した。「夏休みファミリーコンサート」では、子どもたちによるオーケストラ楽器体験ワークショップの発表会と、親子で楽しめる親しみやすいクラシックの名曲の数々を演奏した。

第２号事業（区民の自主的な文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業）

「あいのてさんと音で遊ぼうⅡ」では、ＮＨＫ教育テレビで活躍した３人組「あいのてさん」を迎え、未就学児童を含む親子参加型のコンサートを行った。平成22年度のジュニアオーケストラ設立に向けて、その前段階として「オーケストラ楽器体験ワークショップ」を実施した。小学１年生から高校２年生までの総勢65人で12種類の楽器を練習し、「夏休みファミリーコンサート」で発表した。この３月15日より第２回が実施されている。区民にアコースティック楽器を演奏する場を提供し、日頃の研鑽を発表してもらう「せたがや・アマチュアスペシャルライブ」を開催し16組が参加した。団塊の世代やその前後の世代を対象にした「せたがやMusicコレクション」を開催し、プロの演奏家とアマチュア演奏家とでオールディーズなど懐かしい曲を演奏した。また、世田谷区民吹奏楽団を中心にマーチの名曲等を演奏するブラスの祭典「ビバ・ブラス！」も行った。「小•中学校音楽鑑賞教室の支援」として、区内小・中学校が音楽鑑賞教室を企画する際に、目的・予算に応じて演奏者を紹介し、演奏会を補助した。昨年度は４校から依頼があった。

第５号事業（区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営）

「全国子ども文化・芸術サミット」の一環として「打楽器をたたこう」を実施した。これは小学生を対象に打楽器の面白さを体験してもらう親子参加型のワークショップで、50人の参加があった。

以上、平成20年度の事業参加者・施設入場者総数は、パブリックシアター（246,446人）、生活工房（201,429人）、美術館（332,795人）文学館（124,701人）、世田谷アートタウン（170,000人）、音楽事業部（8,110人）の合計で1,083,481人であった。（注：「男女共同参画センター」の管理委託は平成19年度で終了した。）

また、パブリックシアター主催の「春琴」が読売演劇大賞の優秀作品賞に輝くなど、高い評価を受けた。

〔年度別入場者数〕　（単位＝人）

年　度	パブリックシアター	生活工房	美術館	文学館	音楽事業部
20年度	246,446	201,429	332,795	124,701	8,110
19年度	243,087	226,223	301,658	109,905	4,715
18年度	224,172	231,676	368,452	104,310	

（注）音楽事業部は平成19年度設立

⑶　平成21年度方針

アメリカから端を発した経済不況の波が日本経済にも悪影響を与える中、区民生活にも深刻な影を落としている。しかし、このような時だからこそ、せたがや文化財団としては、文化・芸術が如何に大切かを訴えていかなければならない。

そこで、本年度はさらに、的確に区民ニーズを掴み、演劇や音楽、美術、文学など、一層質の高い文化・芸術の展開を図り、区民が日本や世界に誇れる文化施設としていきたい。さらに、区民の自主的な文化創造活動の支援を積極的に行っていくと同時に、子供のころから文化・芸術に親しむ機会を増やすなど、心に潤いと豊かさを持った人間形成の育成にも力を入れていく。そのために、世田谷区や財団の各館が活発に情報交換を行い、互いに協力し合えるよう組織の構築を今まで以上に図っていく。

また、「世田谷区文化及び芸術の振興に関する条例」に基づく「世田谷区文化・芸術振興計画」に引きつづく、調整計画の策定に向けた「文化・芸術振興懇話会」がこの４月に発足した。この懇話会では、次代に向けた財団の役割や機能の在り方が議論されていく予定である。

さらに、新公益法人制度改革への取り組みが本格化していく中、世田谷区や世田谷の各団体と連携を取りながら、せたがや文化財団としての方向性を決定していく大事な年でもあり、財団一体となって取り組んでいく。

2．事業実績

◎世田谷文化生活情報センター（生活工房）

II　区民の自主的な地域文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業（第２号事業）

区民の自主的な文化創造活動を支援するため、活動場所の提供や講座などを開催する。また、文化芸術への関心を喚起するため教育普及事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
デザイン・アート	①眞田岳彦セタガヤーンプロジェクト'09 衣服造形家・眞田岳彦と共に行う「衣」のプロジェクト。区内小中学校８校と区民と共に、棉の苗木を栽培。 収穫した棉から糸を紡いで作品展を開催した。	６月～３月	無料	3,372名	ワークショップルーム他
	②日本の伝統文化とエコロジー 日本文化の持つ「用と美と環境のバランス」について、その道の達人をゲストに迎えてセミナーを開催した。 進行：アシハラヒロコ（インテリア・アーキテクト） ・「茶道」　安藤宗良（遠州茶道宗家執事長） ・「礼法」　柴崎直人（小笠原礼法総師範） ・「食・器」　辻義一（「辻留」三代目主人） ・「伝統芸能」　味方玄（観世流能役者） ・「庭園」　龍居竹之介（龍居庭園研究所所長）	６／14、21、28、７／５、12	各回1,000円	252名	ワークショップルーム
	③ただのいぬ。プロジェクトvol.５「ただしいいぬ。展」 21年度より交付される世田谷区の新犬鑑札のＰＲと、犬と暮らすマナーについて写真や絵本原画で紹介した。 ・セミナー「ただしい犬との暮らし方」 講師：服部貴康（写真家）、櫻井良浩（東京都動物愛護センター）、宮田松利（世田谷保健所）、渡辺眞子（作家）、坂上華奈（MOBBY店主）	９／11～24	無料	3,890名	生活工房ギャラリー、セミナールーム
	④国際クラフト展「酒器・酒杯台」東京巡回展 伊丹市立工芸センターが国際的に募集した酒器をテーマにしたクラフト作品展を開催した。	１／17～31	無料	1,921名	ワークショップルーム
	⑤Touching the Images　ふれる写真展 都立久我山盲学校で４回の写真ワークショップを行い、その成果を触って感じる立体写真で紹介した。 ・「見えない人とのデジカメワークショップ」 進行：京都大学インクルーシブデザインユニット ・「第三の眼―盲目の写真家ユジェン・バフチャルについて」 講師：港千尋（写真家）、服部貴康（写真家）	盲学校でのワークショップ：11／11、18、12／９、16 展覧会：２／６～15	無料	2,175名	ワークショップルーム、生活工房ギャラリー、セミナールーム
大人のモノづくり	大人のモノづくりワークショップ 『紙をおくる』をテーマに、プロのデザイナーやアーティストと交流し学ぶ場を提供した。 ・「言葉をつづる豆本づくり」 講師：赤井都（豆本作家） ・「お酒をおくる―おもてなしの紙あそび」 講師：井上由季子（グラフィック工芸家） ・「文字を活ける―拾う・組む・刷る」 講師：オールライト工房	５／31、６／１ １／24、25 ２／14～15	3,500円 3,000円 4,500円	87名	ワークショップルーム他

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
地域・社会・生活	①せたがや・次世代の交通と環境プロジェクト2008				
	信号／踏切待ちアイドリングストップ・キャンペーン 地球温暖化抑止のために、信号待ちの自動車に対し、アイドリングストップの呼びかけを行った。	4／29 11／16	—	ボランティア春38名、秋58名	世田谷線若林踏切他
	路線バスを利用した「信号待ちアイドリングストップ」のＰＲ	11／1～22	—	バス314台	世田谷区内
	ウエブサイト「TOKYOエコドライブ倶楽部」の運営 都市のエコドライブに関する情報・交流のwebサイト	通年	—	アクセス数55,000件	—
	②ワーク・ライフ・バランス関連事業 「シネマ＆トーク　仕事も人生もおいしく」 映画『幸せのレシピ』の鑑賞と講師のトークを通して、仕事と生活の調和について理解を深める場を提供した。 ・上映作品：『幸せのレシピ』 （2007年／アメリカ映画） ・トーク講師：谷田川知恵（大学非常勤講師）	11／21	無料	82名	セミナールーム
	③インターンシップ生の受け入れ 昭和女子大学、自由が丘産能短期大学のインターン生を受け入れ、コミュニティと交流について事業の現場で学んだ（単位取得）。	各2週間	—	（2名）	—
ギャラリー	①生活工房ギャラリー企画				
	「ラップ・ザ・セタガヤ―世田谷の包み紙」展 区内に居を構える52店舗75枚の包み紙を展示し、包み紙そのものの魅力や地域性に迫る企画。	4／10～30	無料	4,059名	生活工房ギャラリー
	「押忍！手芸部ビフォー＆アフター」 手袋や靴下を材料に手芸の枠を超える作品約50点を展示。会期中大人対象手芸ワークショップも開催。 ・ワークショップ「押忍！手芸部お部活」 講師：石澤彰一（押忍！手芸部部長）	5／31～ 6／22		4,162名	
	「Dwelling 勝又邦彦 写世術／photo projects vol. 2」 世田谷在住の若手写真家の展覧会及び親子対象写真ワークショップを世田谷美術館と同時開催した。	7／3～27		2,453名	
	「こどものあそびの絵本展」 絵本画家・松田けんじによる懐かしい遊びの風景画を、4カ国語のキャプションとともに紹介した。 ・昔あそびワークショップ 協力：ＮＰＯ法人せたがや福祉サポートセンター	8／2～ 9／7		3,243名	
	「もってくてん」 「子どもとのおでかけに持っていくもの」をテーマにしたプロダクトデザイナー10組の新作を展示。子どものデザイン教育の可能性を考えるトークセッション「こどもとデザイン」も開催した。 ・トークセッション「こどもとデザイン」 ゲスト：齋藤学（山形大学准教授）、進行：萩原修（デザインディレクター）	10／8～26		4,047名	
	「世田谷でみかけた書体」展 生活に密着したデザインである「書体」写真を世田谷全域から収集して展示した。 ・トークイベント　講師：竹下直幸（書体デザイナー）	1／10～ 2／1		2,672名	

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
ギャラリー	②カフェくりっく公募作品展示 区民から絵画・写真・オブジェ等の作品を公募し４週替わりで展示した。	年間13作品	展示参加料 10,000円	78,500名	カフェくりっく
こども体験ワークショップ	①分解ワークショップ 家電製品を分解しながら、道具の使い方を学び、機械の仕組みを探るワークショップを実施した。 ・「家電製品の仕組みを探ろう！」 ・「プロジェクター・光の原理を探ろう！」 講師：株式会社東芝、金子金次（メディアアドバイザー）	11／８、９	1,000円	76名 （38組）	ワークショップルーム
	②こども体験ワークショップ 暮らしの科学、デザイン、アートをテーマにした体験ワークショップを開催。 ・「モノが写るふしぎ〜まっくらやみで写真をつくろう！」講師：勝又邦彦（写真家） ・「はこぶ道具・ワークショップ〜プロダクトデザインをはじめよう！」講師：コド・モノ・コト ・「アニマリートをつくろう！〜メキシコってどんな国？」講師：荒木珠奈（アーティスト）	７／23 ８／３ ８／30	1,500円 1,000円 1,500円	83名	ワークショップルーム
	③宮古島自然体験教室 世田谷区と宮古島市の子どもたちの交流を軸にした自然体験教室を実施した。11月には生活工房ギャラリーと宮古島市生涯学習フェスティバルで写真を主とした報告展を開催した。	８／５〜９	小学生： 70,000円 中学生： 85,000円	26名	沖縄県 宮古島市
	④「おはなしいっぱい」 区内で自主的に活動する19組のお話のグループと共に乳幼児〜小学校高学年対象のお話イベントを開催。	８／20〜22	無料	801名	ワークショップルーム
	⑤中学生ＥＶ組立て教室 「電気フォーミュラーカーを作ろう」 電気自動車の仕組みやエネルギーの循環、環境問題について幅広く学び、電気フォーミュラーカーを組み立てる体験型ワークショップを実施した。	６／28〜 11／24 （全５回）	中学生： 3,000円 親子： 5,000円	延20組	都立総合工科高校他
カルチャー講座事業	①パソコンに親しむＩＴエンターテインメントセミナー デジタルカメラやビデオ、パソコンソフトの基礎からレベルアップした活用編まで、プロの指導のもと学習した。 講師：ソニーマーケティング株式会社	15講座 年間85回	2,100〜 10,290円	539名	セミナールーム
	②話し方・朗読講座　「豊かなことばの世界」 表現力の向上を通じて日常生活を豊かに送ることを目指した朗読と話しことばの講座を実施した。３月には受講生による朗読発表会を開催した。	11講座	18,000円 （４回）	121名	
生活工房広報	①生活工房ウエブサイトの運営 広く情報を提供するため、インターネットで事業の告知・報告、施設案内などを行った。	年間	—	—	—
	②生活工房「イベントガイド」（事業季刊紙）の発行 生活工房の実施する事業をより多くの区民に周知するため、季刊紙を作成し、配布した。	年４回	—	40,000部	—
	③生活工房「アニュアルレポート」の発行 生活工房の実施する事業をより多くの区民に周知するため、年次報告書を作成し、配布した。	年１回	—	1,000部	—
	④生活工房モニター評価制度の実施 区民からモニターを募り、グループインタビューを行って事業に参加した感想、意見を聴取した。	年４回	—	延15名	—

◎世田谷文化生活情報センター（生活工房・世田谷パブリックシアター共通）

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
アートタウン三茶de大道芸	①世田谷アートタウン2008の実行委員会事務局運営 地元商店街・町会等で組織する実行委員会の一員として文化生活情報センターが参加するとともに、事務局を運営した。	年間	－	－	ワークショップルーム、セミナールーム、アートタウン会場他
	②世田谷アートタウン2008三茶ｄｅ大道芸 地元商店街・町会等と協力しキャロットタワー周辺の特設会場で大道芸を中心としたフェスティバルを実施した。	10／18・19	無料	約17万名	

Ⅲ　市民活動の支援及び振興に関する事業（第３号事業）

ＮＰＯ活動等区民の自主的なコミュニティ活動の支援と振興に関する事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
市民活動支援	①ＮＰＯ活性化のための、ＮＰＯとの協働プログラム				
	ＮＰＯ講座「エクセル使いこなし講座」 ＮＰＯ法人をはじめとした市民活動団体にエクセルの使い方を学ぶ機会を提供した。	２／３、10	3,000円	66名	セミナールーム
	市民活動相談 ＮＰＯ法人設立の手続き、活動初期の運営についてなど基本的な相談や情報提供を行った。	随時	無料	27件	市民活動支援コーナー
	②世田谷パートナーズサロン2008 「終い（つい）のすみかと暮らし方⑨～⑪」 家族をテーマにサロン形式の話合いの場を提供した。	６／21 11／１ ２／７	300円	111名	ワークショップルーム
	③世田谷アートフリーマーケット2008 （vol.９、vol.10） 市民アーティストの作品や世田谷ゆかりの商品を通じ様々な人・物に出会い世田谷に関心を持つ場として、春と秋の２回開催した。	春 ５／17、18 秋 ９／20、21	無料	24,000名	ワークショップルーム、セミナールーム他
	④「せたがや市民活動Genkiネット」の運営				
	「せたがや市民活動Genkiネット」運営 市民活動団体の活動情報や区・財団等の支援事業を紹介するホームページの運営を行った。	年間	無料	アクセス数 33,933件 新規登録 14件	—
	「せたがや市民活動Genkiネット」使い方講座 登録団体向けに、サイトの有効な活用方法の講習を行った。	２／24	無料	14団体 18名	セミナールーム
	⑤「市民活動支援コーナー」の管理・運営				
	市民活動支援コーナーの運営 市民活動団体に運営を委託し、登録した市民活動団体に打合せスペースや印刷機器等を提供した。	年間	—	14,683名	市民活動支援コーナー
	市民活動支援コーナー活性化事業 ・パオフェスタ「食育の秋@せたがや」 アートタウン開催日にあわせ、支援コーナー利用団体がＰＲ活動を行った。 ・「市民活動支援コーナーの日々展」 活動風景をパネル等で紹介、団体による作品展示も行った。	10／19 ２／20～ ３／４	無料	531名（パオフェスタ）、790名（市民活動支援コーナーの日々展）	ワークショップルーム、生活工房ギャラリー

Ⅳ　国際的な文化交流及び市民交流推進に関する事業（第４号事業）

海外の芸術文化紹介や在住外国人との交流、市民間の姉妹都市交流などを支援する事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
区民国際交流支援事業	①留学生の研究発表会「ＪＡＰＯＮＤＥＲ５」 世田谷区在住留学生の研究発表の場と地域住民と交流の機会を提供した。	９／27～ 10／３	無料	1,816名	ワークショップルーム、生活工房ギャラリー
	②国際交流in世田谷 区民と在日外国人との文化交流を通して、お互いの理解を深める機会を提供した。	２／28	1,000円	250名	ワークショップルーム
	③国際社会に学ぶ海外訪問研修 当初の研修訪問予定地インドを治安悪化のためタイ・カンボジアに変更したが、当該地も治安悪化のため、渡航を中止。事前研修のみ行った。	中止	－	－	－
異文化理解交流事業	①「月のへそ―荒木珠奈と七色メキシコ展」 美術家・荒木の作品や民芸品、日本とメキシコ両国の子どもを繋ぐ共同制作を通じ、メキシコの生活文化に親しむ機会を提供した。関連イベント「メキシコ★タノシムーチョ」３企画を開催した。 ・「古代メキシコの紙にマヤ文字をかこう！」 講師：アンバル・パスト （詩人・レニャテーロス工房アートディレクター） ・「ケ・リコ！～メキシコ料理ワークショップ」 講師：三輪イルマ（メキシコ料理研究家） ・「サロン・デ・メヒコ～荒木珠奈ギャラリートーク」 講師：荒木珠奈（アーティスト）	12／４～14	無料（関連イベントは有料）	597名	ワークショップルーム
	②国際協力・開発教育プログラム 「目と耳と舌で味わうタンザニアの暮らし」 タンザニアの家庭料理を調理しながら、国の魅力や生活文化を体験。国際協力、異文化への理解を深めた。 講師：青年海外協力隊OBワスワヒリの会、マリアム・エミリー・ンニャガスィ	２／８	学生800円、一般1,000円	22名	ワークショップルーム

Ⅴ　区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営（第５号事業）

財団の設立目的に合致する事業で世田谷区から委託を受けて実施する文化振興事業及び施設の管理運営。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
才能の芽を育てる体験学習	中学生を対象とした体験ワークショップ 「中学生ハイブリッド教室」 ハイブリッド車の仕組みやエネルギーの循環、環境問題について幅広く学び、車を組み立てる体験型ワークショップを実施した。12月には生活工房ギャラリーと区役所第２庁舎で写真を主とした報告展を開催した。	５／24～ 12／６ （全４回）	無料	30名	都立総合工科高校他
遊びと学びの子どもプロジェクト	「絵がうごくふしぎ～マルからシカク！？のアニメーションをつくろう！」 映像が動いて見える仕組みを学びながら、作画・撮影を体験し、オリジナルアニメーションを制作。完成上映会も行った。（「全国子ども文化・芸術サミット」デモンストレーション事業） 講師：小柳貴衛（アニメーション作家）	９／７	1,000円	18名	ワークショップルーム
芸術百華事業	①世田谷アートフリマinセタビ 市民アーティストの作品や世田谷ゆかりの商品などを集めて、世田谷美術館エントランス前広場を会場として実施した。	11／３	無料	1,500名	世田谷美術館前
	②せたがやdeかえっこバザール 遊ばなくなった玩具、市民活動団体が企画するワークショップに参加して貯められる「カエルポイント」を使い、他の玩具を手に入れる買い物遊びを実施した。	11／９	無料	4,000名	国士舘大学
世田谷区芸術アワード	世田谷区芸術アワード "飛翔" 2008「生活デザイン部門」の募集、審査を行った。	募集期間 ９／14～20	―	応募数 ９組	―
施設維持管理業務	世田谷文化生活情報センター生活工房セミナールーム、ワークショップルームの貸出等	年間	施設により異なる	34,303名	セミナールーム、ワークショップルーム

◎世田谷文化生活情報センター（世田谷パブリックシアター）

Ⅰ　文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究（第１号事業）

美術作品、文学作品の展示、演劇公演等、質の高い芸術文化を区民に提供する事業及び芸術文化作品や文化振興に係る調査研究事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
国内演劇創作事業	主催公演 芸術監督の企画などの演劇作品を創作し、公演した。			総入場者 7公演 78回 22,691名	―
	「日本語を読む〜リーディング形式による上演〜」 日本語の美しさを再認識するための企画。近・現代に日本語で書かれた複数の作家作品をリーディング形式で上演した。演出には、若手演出家を複数名起用し、優れた日本語のテキストと正面から取り組む機会を提供し、次世代の演出家の発掘と育成を図り、日本語の持つ美しさや表現力について探求した。	5／7〜25 18回	1,000〜 2,000円	2,081名	シアタートラム
	能楽現在形　劇場版@世田谷 野村萬斎演出・出演 同世代のシテ方をゲストに迎え、お互いに刺激し合いながら、能楽の現在、未来を考える新たな試みを劇場空間で行うことで、現代舞台芸術における古典の存在意義を確認する。	6／20〜22 3回	1,500〜 7,000円	1,515名	パブリックシアター
	「MANSAI◎解体新書」その拾参　その拾四 芸術監督自らの出演によるトーク＆パフォーマンス企画。「その拾参」では、和央ようか、小沼純一をゲストに様式性についてをテーマに、「その拾四」では、桐竹勘十郎、福岡伸一をゲストに、自己と他者をテーマに実施した。	7／1 2／24 2回	1,750〜 3,500円	1,530名	パブリックシアター
	「偶然の音楽」 白井晃脚本・演出 ポール・オースターの小説を、ワークショップを通じて平成17年に舞台化した作品をキャストを一部変更して再演した。	9／14〜28 14回	2,500〜 6,500円	6,980名	パブリックシアター
	狂言劇場その伍 誰もが知っている民話の「彦市ばなし」をもとに、木下順二が狂言作品として書き下ろし、上演されてきた作品を芸術監督の野村萬斎の演出・出演により上演するとともに、古典狂言を上演した。	11／21〜29 7回	2,500〜 7,500円	3,377名	パブリックシアター
	「友達」 安部公房脚本、岡田利規演出 国内はもとより欧米でも評価の高い安部公房の作品を、国内外でも注目を集める若手演出家であるチェルフィッチュの岡田利規の演出により上演した。	11／11〜24 18回	2,500〜 5,000円	4,181名	シアタートラム

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
国内演劇創作事業	「ピランデッロのヘンリー四世」 ルイジ・ピランデッロ作、白井晃演出 20世紀を代表するイタリアの劇作家ピランデッロの『エンリケ四世』（新訳トム・ストッパード）を、まつもと市民芸術館、えずこホールとの共同制作により、白井晃演出、串田和美、秋山菜津子らの出演により上演した。	2／12〜 3／1 16回	2,500〜 5,000円	3,027名	シアタートラム
	演劇等提携公演 シス・カンパニー「瞼の母」、KERA・MAP「あれから」など提携して上演するにあたり、舞台技術や広告宣伝等の協力を行った。	4／14〜 3／15	500〜 12,000円	総入場者 15公演 131回 45,266名	パブリックシアター／シアタートラム
こどもの劇場	こどもの劇場2008「にんぎょひめ」 演出家テレーザ・ルドヴィゴ（伊）と日本人俳優との共同作業により、アンデルセンの「にんぎょひめ」を題材に子どもも大人も一緒に楽しめる作品として2007年12月に上演したものをパブリックシアターで再演するとともに、沖縄あしびなーフェスティバル、鳥取・鳥の劇場で公演を行った。	7／12〜15 4回 7／21〜22 2回 9／13〜14 2回	1,250〜 2,500円	1,530名 226名 333名	パブリックシアターほか
ダンス公演	共同制作舞踊公演 珍しいキノコ舞踊団×plaplax「The Rainy Tabe」 珍しいキノコ舞踊団、メディアアート集団plaplax、世田谷パブリックシアター、山口芸術情報センターの4者で共同制作作品を創造し、それぞれの劇場で上演した。	3／19〜22 6回	2,000〜 4,000円	1,459名	シアタートラム
	ダンス提携公演 イデビアンクルー「排気口」、山海塾「降りゆくもののなかで－とばり」、大駱駝艦「シンフォニーM」、Noism08「Nameless Hands〜人形の家」などの舞踊作品をダンスカンパニーなどと提携して上演した。	7／2〜 3／29	2,500〜 5,000円	総入場者 8公演 34回 11,794名	パブリックシアター／シアタートラム
	SePT独舞シリーズ 舞踊家によるソロのダンス公演。 東野祥子「Vacuum Zone」	10／23 1回	2,500〜 3,500円	207名	シアタートラム
	「トヨタ・コレオグラフィ・アワード2008」 次世代を担う振付家の発掘育成を目的にトヨタ自動車株式会社と提携して実施した。	6／28〜29 2回	1,500〜 3,000円	704名	パブリックシアター
音楽主催公演	音楽コンサートを主催により実施した。			総入場者 2公演4回 1,924名	—
	日野皓正 presents JAZZ for Kids Dream Jazzs Bandとして区内中学生から公募したメンバーを対象に長期間にわたるプロミュージシャンによるワークショップの成果としてのコンサートと、日野皓正Quintetによる親子で鑑賞できるジャズコンサートを実施した。	8／16〜17 2回	2,000〜 4,000円	1,298名	パブリックシアター
	邦楽コンサート 「獅子虎傳阿吽堂　番外編」 能楽囃子方の亀井広忠と歌舞伎囃子方の田中傳次郎を中心にして、邦楽の世界を多面的に鑑賞できる音楽会の番外編を実施した。	11／22 2回	2,500〜 5,000円	626名	

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
音楽提携公演	提携により「上々颱風シアターLIVE！」、ハンバート・ハンバート、古謝美佐子、浜田麻理子コンサートをはじめ、オペラなど音楽公演を実施した。	6／13～ 2／15	2,000～ 6,500円	総入場者 8公演 19回 7,442名	パブリックシアター／シアタートラム
貸館公演	世田谷区内の劇団等による演劇・舞踊・音楽公演、落語など、様々な催し物を実施した。	4／2～ 3／31	無料～ 11,000円	総入場者 21公演 169回 15,043名	パブリックシアタ／シアタートラム

II　区民の自主的な文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業（第2号事業）

区民の自主的な文化創造活動を支援するため、活動場所の提供や講座などを開催する。また、文化芸術への関心を喚起するため教育普及事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
フリーステージ	「洋舞・洋楽部門」 クラシックバレエ、ジャズ・モダンダンス、洋楽などの分野ごとに実行委員会と協力して区内アマチュア団体の発表を実施した。	4／29 5／4 5／5 4回	無料	参加団体 43団体 758名 総入場者 2,750名	パブリックシアター／シアタートラム
ネクストジェネレーション	若手カンパニーに上演機会を設け、若手演出家・作家・カンパニーの発掘・育成を図ることを目的に、公募し、選考により、サスペンデッズ「片手の鳴る音」、toi「四色の色鉛筆があれば」、エビビモpro.「エビビモ」を上演した。	1／24～25、 1／27～28、 1／31～ 2／1	1,250～ 2,500円	3公演 11回 2,118名	シアタートラム
伝統芸能企画	爆笑寄席◎てやん亭2008　スペシャル 柳亭市馬、柳家三三、柳家はん治を中心にした落語の会を実施した。	11／1～2 4回	1,500～ 2,500円	540名	シアタートラム
世田谷おもしろ座	三茶deバラエティー「バロン親方の一座がやって来た」 世田谷アートタウンに合わせて、日本の大道芸人のバラエティショーを実施した。	10／18～19 4回	無料	1,910名	パブリックシアター
教育普及事業	ドラマ・リーディング 　国内ではまだ未上演の海外の優れた戯曲をリーディング形式で上演したほか、次年度の上演に向けてのリーディングを実施した。 ・マリウス・フォン・マイエンブルク作「醜男（ぶおとこ）」 ・シェイクスピア作、野村萬斎演出「マクベス」	6／13～14 10／28 4回	1,000円	891名	シアタートラム
	演出家によるワークショップ 演出家・振付家の手法をワークショップを通じて発展させるとともに、それに対応可能な技術を持つ俳優・舞踊家を育成するためのワークショップを実施。 ・下総源太朗　演劇ワークショップ ・岡田利規　演劇ワークショップ ・ピーピング・トム　ダンスワークショップ ・テレーサ・ルドヴィコ　演劇ワークショップ ・野村萬斎　「国盗人」演劇ワークショップ	4月～3月	無料～ 4,000円	6コース 130名	文化生活情報センター

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
教育普及事業	上演作品レクチャー 上演作品に関連した、芸術・文化・社会・歴史・思想・哲学など、幅広く現代人の知的興味が享受できる機会としてレクチャーを実施した。 ・白井晃　「偶然の音楽」 ・小田幸子　現代能楽集Ⅳ「The Diver」 ・岡田利規　「友達」 ・野村萬斎　「狂言劇場」 ・ガブリエラ・カリーソ「Le Sous Sol／土の下」 ・白井晃／串田和美　「ピランデッロのヘンリー四世」 ・伊藤千枝　「The Rainy Table」 ・千葉俊二　「春琴」	9／23～ 3／15	1,500円	8講座 8回 441名	文化生活情報センター
コミュニティワークショップ	①劇場・演劇体験＆ツアー 観客としてだけではなく、様々な形での劇場体験を通じて、劇場をより身近に多面的に捉えるための機会を提供した。 ・「デイ・イン・ザ・シアター」 ・「劇場ツアー」	4／5～ 3／3 6／21～ 3／8	500円	13回 155名 7回 148名	文化生活情報センター
	②こどもワークショップ 子どもたちの夏休み・冬休み・春休みを利用して、演劇やダンスの手法を利用した遊びやものづくりを通しながら、声を出したり体を使って表現することの楽しさを発見できるワークショップを実施した。 ・小学生のためのダンス•ワークショップ（2コース） ・小学生のための演劇ワークショップ(夏•冬3コース) ・中学生と高校生のダンス•ワークショップ（2コース） ・中学生と高校生のための演劇ワークショップ（春•冬） ・高校生のためのワークショップ	4／2～ 1／7	500～ 2,500円	17コース 25回 224名	
	③ダンスワークショップ 平日午前中に、小さなお子さん連れの方でも気軽に参加でき、普段は使わないカラダを動かす、コンテンポラリーダンサーによるワークショップ。 ・コンテンポラリーダンスでカラダワークショップ①・②	10／24～ 12／9 1／30～ 3／23	500～ 1,000円	6回 66名	
	④地域の物語ワークショップ 世田谷を取材し、作品づくりを通じて、まちを見つめなおすワークショップ。"聞き書き"という方法を使い、参加者自身が自分自身の体と声で表現した。最終的には劇場で発表会を実施した。 ・休日コース（12回） ・モーニングコース（7回） ・金夜コース（8回） ・こどもコース（4回）	1／18～ 3／29 発表会 3／27、29	1,500～ 5,500円	4コース 103回 52名 発表会 入場者 63名	
	⑤狂言ワークショップ@スクール 地域に出向き、小学生～中学生を対象に狂言の手法を体験するワークショップを実施した。	11／4～6	－	3回 31名	区内施設
	⑥土曜劇場プレイ・パーク 毎週土曜日の午前中に、劇場に集まった人を対象に、劇場の内部を案内したり、演劇やダンスなどの体験型ワークショップを実施した。	4／5～ 3／28	300～ 500円	48回 653名	文化生活情報センター
	⑦提携ワークショップ 福岡市文化芸術振興財団及び、豊橋市と提携し、演劇ワークショップの実施や指導者の育成に関して協力した。	年間	－	－	－

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
学校との共同プログラム事業	①学校での演劇ワークショップ 「かなりゴキゲンなワークショップ巡回団」 区内の小学校・中学校を中心として、授業に訪問するなど、クラス単位や演劇部単位でコミュニケーション・ゲームを交えた演劇作りなどのワークショップを行った。	5／12～ 3／17	－	19校 125回 6,830名	区内各学校等
	②学校での演劇プロデュース公演 @スクール公演「うっかり、ちょっと、きのこ島」 区内の小学校に出向き、体験型公演を行った。	6／11～ 9／21	－	10校 30回 1,261名	
	③先生のためのワークショップ ・先生のための演劇ワークショップ「教えるヒント」 学校などで役立てるような演劇手法を体験したり、新たな視点を見つけるための話合いの場を提供した。	7／28、29、30	2,000円	3回 36名	文化生活情報センター
	④指導者のためのワークショップ ・演劇ワークショップの未来を考える実験ワークショップ 「明日のために」 子どもたちや地域コミュニティのためのワークショップの指導に関心がある人たちにむけて、これからの演劇ワークショップのあり方を考えるワークショップを開催し、その結果を受け、進行役と討論を行い、ワークショップの未来を考察した。 「考えるワークショップ」 演劇ワークショップの手法を研究するためのワークショップを実施した。	5／26～27 6／23 6／4、5～12	無料～ 1,000円	4コース 71名	
	⑤指導者育成のためのワークショップ ・英国ロイヤルナショナルシアター＋ロンドン大学提携ワークショップ ロンドン大学ゴールドスミス分校で行われているワークショップを進行するための手法と理論を学ぶコースを実践するワークショップとその事例を紹介するトークを実施した。	12／12～14 12／15	1,000～ 6,000円	2コース 46名	
	⑥フォーラム＆ラウンドテーブル 「演劇と社会をつなぐ～これからの教育普及を考える～」 世田谷パブリックシアターが小中学校で行っているワークショップ活動事例などを中心に、各地で活躍している実演家や、その活動を支援する地域の芸術文化団体の方々を迎え、事例を報告・検証し、今後の可能性・課題などについて協議し、考えるフォーラムとラウンドテーブルを実施した。	10／23 3／14	無料～ 500円	2回 51名	
	⑧「ＳＰＴ educational 03」の発行 劇場が実施してきた教育普及活動をまとめて紹介する出版物を発行した。	3／31	－	1,000部	－
人材育成事業	①パブリックシアターのためのアーツ・マネージメント研修 公共劇場の運営を担うために必要な知識を講座やゼミなどで学びながら、現場での実地研修を経験し、最終的にはそれぞれのテーマで論文をまとめるなど、次世代の劇場運営者を育成するための研修を実施した。	4月～1月	200,000円	6名	文化生活情報センター

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
人材育成事業	②人材育成レクチャー・シンポジウム 「劇場運営」、「公共圏としての劇場」、「創造の現場」という3つの柱を中心に講座を実施した。 ・「公共劇場の運営‐世田谷パブリックシアターを事例に」 ・「プロデューサーの仕事」 ・「学芸の仕事」 ・「舞台芸術／史論Ⅱ」 ・「公共劇場を規定する法律」 ・「文化政策からみた公共劇場」 ・「公共劇場と地方自治体との関係」 ・「劇場における『舞台作品＝レパートリー』の創造」 ・「ステージと地域の多チャンネル時代を作ろう！」 ・「アートによる地域活性化」 ・「地域で行われるアートプロジェクト－別府」 ・「地域づくり構想と文化と環境」 ・「劇場における公共性－劇場空間の可能性」 ・「舞台芸術と著作権・契約／スキルアップ5日間」 ・「【舞台芸術のクリティック】～舞台を読む・感覚と思考のレッスン」 ・「ダンスライフフェスティバル2008　ダンス＝アートの力で日本を変革していくために、我々は今、何をすべきか」	5／8～ 1／7	1,500～ 15,000円	20コース 50回 638名	文化生活情報センター
	②提携講座 日本劇作家協会「戯曲セミナー」ほか	5月～3月	無料～ 200,000円	3講座 39回 2,203名	
	③劇場で行う主催公演を始めとする、劇場制作現場へ多摩美術大学、昭和音楽大学、東京芸術大学の学生による実習生を受け入れた。（単位認定）	7／5～ 12／26	－	3校 7名	
舞台技術者養成講座	長期、短期の実習および座学の講座を組み合わせて行い、劇場スタッフの仕事についての知識を深める機会を提供し、舞台技術者養成のための講座を実施した。 第20回　舞台技術者養成講座 ・「デザインのワークショップ」 ・「公開講座」 ・「音響・照明の初めの一歩」 第21回　舞台技術者養成講座 ・「舞台技術基礎講座」 ・「照明基礎講座」 ・「音響基礎講座」 ・「舞台技術公開講座」	8／16～24 3／7～10	1,000～ 18,000円	7講座 212名	
舞台技術者特別講習	劇場使用者に対して、設備等の使用講習会を実施した。	年間　2回	－	－	
地域活動情報等の提供	①SPTvol.5の発行 劇場や演劇、主催公演についての刊行物を発行した。	2／20	1,000円	2,000部	－
	②映像資料等の提供 主催公演などの映像記録等の作成・販売を劇場サイトのオンラインで販売。	年間	－	－	－

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
観客組織支援	会員組織「世田谷パブリックシアター友の会」の支援 劇場の会員組織である友の会について、共同でＰＲ事業を行う等により活動を支援した。	通年	年会費 一般 3,000円 賛助会員 10,000円 特別会員 1口 50,000円	一般会員 1,799名 賛助会員 69名 特別会員 56口	－

Ⅳ　国際的な文化交流及び市民交流の推進に関する事業（第４号事業）

海外の芸術文化紹介や在住外国人との交流、市民間の姉妹都市交流などを支援する事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
海外招聘公演・国際共同制作	①国際共同制作公演（演劇） 現代能楽集Ⅳ　「The Diver」 気鋭の劇作家を起用して、能楽の演目や能舞台の特性をいかした新作現代戯曲を上演する現代能楽集シリーズの第四弾。野田秀樹の作・演出・出演し、英国の俳優とともに作品を創造し、ソーホー劇場（ロンドン）で上演の後、シアタートラムで上演した。	9／26～ 10／13	3,250～ 6,500円	24回 5,283名	シアタートラム
	②海外招へい公演（ダンス） ピーピング・トム「Le Sous Sol／土の下」 世界で注目を集めるベルギーのダンスカンパニーの公演を招聘し、公募による地域の高齢者のエキストラが、共演した作品を上演した。	2／5～7	2,500～ 5,000円	3回 1,270名	パブリックシアター
	③国際共同制作公演（演劇） 「春琴」　サイモン・マクバーニー演出 谷崎潤一郎の「春琴」・「陰翳礼讃」をもとに舞台化し平成20年２月に上演し、読売演劇賞の作品賞などを受賞し好評を博した「春琴」を英国・バービカンシアターでの公演のあと、凱旋公演として上演した。	3／5～16	1,500～ 7,500円	14回 8,512名	パブリックシアター

Ⅴ　区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営（第５号事業）

財団の設立目的に合致する事業で世田谷区から委託を受けて実施する文化振興事業及び関連施設の管理運営。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
学校連合事業「古典芸能鑑賞教室」	区立小学校６年生を対象に小学生を対象に古典芸能である「狂言」鑑賞をワークショップと組み合わせて実施する。	5／17～ 6／20	－	7回 5,245名	区内施設

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
中学生課外講座「才能の芽を育てる体験学習」	区立中学生を対象とした音楽ワークショップを実施した。 「ドリームジャズバンド　ワークショップ2008」	4／26～ 8／17	無料	20回 51名	区内施設等
世田谷芸術百華	全国子ども文化・芸術サミット～アートは子どもの創造性を育むのか ・シンポジウム ・「子どもとアートの出会い」 ・「兵庫県立ピッコロ劇団ワークショップ」 ・「子ども "スペシャル" 演劇ワークショップ」	9／6・7	無料～ 500円	200名	タウンホール
	世田谷アートタウン出前編 世田谷区内の商店街や地域の福祉施設に出前で大道芸のパフォーマンスを実施した。	10／11～16	－	4商店街 3施設	区内施設等
世田谷区芸術アワード飛翔	世田谷区芸術アワード "飛翔" 2008「舞台芸術部門」の募集、審査を行い、2団体が選出された。	募集期間 9／14～20	－	応募 14団体	－
教科日本語ワークショップ	小学校の先生方に対し、1・2年生の「日本語」に関する演劇ワークショップの指導方法を研修するワークショップを実施した。	8／18～22	－	10回 延105名	区内施設

◎世田谷美術館

Ⅰ　文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究（第１号事業）

美術作品、文学作品の展示、演劇公演等、質の高い芸術文化を区民に提供する事業及び芸術文化作品や文化振興に係る調査研究事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
企画展	①「イリヤ・カバコフ『世界図鑑』絵本と原画」展	4／1～4／6（※2／9～4／6）	500～1,000円	3,196名	世田谷美術館
	②「冒険王　横尾忠則」展	4／19～6／15	600～1,200円	34,773名	
	③建築がみる夢「石山修武と12の物語」展	6／28～8／17	500～1,000円	15,975名	
	④「ダニ・カラヴァン」展	9／2～10／21	500～1,000円	13,102名	
	⑤都市と田園のはざまで「山口　薫」展	11／3～12／23	500～1,000円	15,903名	
	⑥十二の旅：感性と経験のイギリス美術	1／10～3／1	500～1,000円	14,451名	
	⑦特別展「平泉　～みちのくの浄土～」	3／14～3／31（※3／14～4／19）	500～1,300円	31,035名	
調査・研究	①素朴派や世田谷ゆかりの作家等の調査・研究	年間	－	－	世田谷美術館
	②向井潤吉の作品に係る調査・研究	年間	－	－	
	③清川泰次の作品に係る調査・研究	年間	－	－	
	④宮本三郎の作品に係る調査・研究	年間	－	－	
広報事業	館の案内や事業予定及び事業内容等について、ホームページ、印刷物等による情報提供を行った。また、前年度の館全体の事業を報告する年報を作成。過去のアナログ記録のデータ化整備を行った。	年間	－	－	
企画展関連催物事業	①「冒険王　横尾忠則」展				世田谷美術館講堂他
	野外ライヴ「パスカルズより、冒険王へ」	4／26	500円	350名	
	（対談シリーズ） ・その１：横尾忠則×酒井忠康 ・その２：横尾忠則×荒俣宏 ・その３：横尾忠則×中条省平 ・その４：横尾忠則×糸井重里	4／27 5／4 6／1 6／15	－	180名 270名 250名 300名	
	（パフォーマンス・シリーズ） ・冒険王へのオマージュその１ ・冒険王へのオマージュその２ ・冒険王へのオマージュその３	5／3 5／5 6／14	－	180名 220名 210名	

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
企画展関連催物事業	②建築が見る夢「石山修武と12の物語」				世田谷美術館講堂他
	・「サカタ式」坂田明トーク＆ライブ	7／27	2,000円	82名	
	・石山修武－自作を語る	8／3	－	350名	
	・真夏の夜の夢（7／15～8／17　延21回）		－	1,256名	
	・向風学校（7／19～8／16　延4回）		－	134名	
	③ダニ・カラヴァン展				
	・大友良英＋Jim O'Rourke＋SachikoM＋ユタカワサキ	9／13	2,000円	97名	
	・「ダニ・カラヴァン　時空の軸線」	9／20	－	90名	
	・「ダニ・カラヴァンと環境、建築」	9／23	－	100名	
	・町田良夫（美術家／音楽家、スティール・パン奏者）	9／28	－	150名	
	・「にかスープ＆さやスープ」	10／4（昼） 10／4（夜）	－ 2,000円	200名 150名	
	・「丘・パサージュ・階段（ベンヤミンへのオマージュ）をめぐって」	10／11	－	90名	
	④山口薫展				
	・「山口薫、芸術への問いかけ」	12／20	－	150名	
	④十二の旅：感性と経験のイギリス美術				
	・講演会［イギリスの風景と美術］	1／18	－	160名	
	・講演会「デイヴィット・ナッシュ　木との対話の日々」	1／25	－	90名	
	・講演会「アンディ・ゴールズワージ制作同行記」	2／1	－	101名	
	⑤特別展「平泉～みちのくの浄土～」				
	・講演会「平泉文化と浄土思想」	3／14	－	210名	
	・講演会「奥州藤原三代と仏教美術」	3／21	－	205名	
ライヴラリー前展示	群馬直美―葉っぱの精神	9／9～24	－	―	世田谷美術館
	森のアート・海のゲイジュツ合同展覧会	11／11～24	－	―	

II　区民の自主的な文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業（第2号事業）

区民の自主的な文化創造活動を支援するため、活動場所の提供や講座などを開催する。また、文化芸術への関心を喚起するため教育普及事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
教育普及活動	①タノシサ・ハッケンクラス				世田谷美術館創作室他
	◆ワークショップ「誰もいない美術館で」				
	ＶＯＬ.17「うたう冒険王！」	5／24、25	20歳以上 2,000円	16名	
	ＶＯＬ.18「おどる冒険王！」	6／7、8	20歳以上 2,000円	18名	

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
教育普及活動	ＶＯＬ.19「イシヤマウンテンオペラ」	7／7、8	20歳以上 2,000円	28名	世田谷美術館創作室他
	ＶＯＬ.20「風景がダンスを…」	9／27、28	20歳以上 2,000円	19名	
	◆Back to Nature 2008 （対象：高校生もしくは16歳以上の大人）	11／16 11／22～24	3,000円	30名	美術館川場村
	◆世田谷美術館×世田谷区民健康村 「葉っぱの精神in川場村」	11／22～23	18歳以上 宿泊実費	15名	川場村
	②創作室活動				世田谷美術館創作室他
	◆雨にあそぶ－水のかたち水のねいろ	7／13	500円	小/中学生 17名	
	◆エッチング講座：もうひとつの12の旅 （全4回）	1／10、17、24、31	6,000円	高校生以上 17名	
	◆ワークショップ 「13番目のぼくの旅～どこへでもいける駅」	2／8、11	－	小/中学生 7名	
	◆えのぐ遊びワークショップ				
	さくら・さくら・さくら	4／6	－	親子39名	
	用賀サマーフェスティバル	8／23	－	親子37名	
	◆100円ワークショップ				
	「お花見カンバッチを作ろう　08」	4／5～6	100円	延496名	
	「コラージュで冒険！」	4／19～6／14（全9回）	100円	延147名	
	「涼感うちわを作ろう」（全9回）	8月中の毎週金土曜日	100円	延392名	
	「用賀サマーフェスティバル」	8／23	100円	69名	
	「大地の歌をハンカチに描こう」（全13回）	9／6～11／29	100円	延165名	
	「タータンチェックのカンバッチを作ろう」（全8回）	1／10～2／28	100円	延187名	
	「キラキラらでんアクセサリー」	3／14、21	100円	延89名	
	「さくら祭　09」	3／28、29	100円	延423名	
	③美術鑑賞教室 小学校（4年生）、中学校（1年生）を対象に実施した。 ※美術鑑賞教室の運営に世田谷美術館ボランティアが参加した。	年間	－	小学校 3,932名 中学校 2,453名	－
	④美術鑑賞教室特別プログラム 美術鑑賞教室で来館する小学校のうち、希望校に対して事前に出張事業を行った。展覧会の内容や美術館に親しみを持っていただくことを目的に、体験学習型の授業を主体とし、啓発、普及活動を実施した。また、当館が提供する資料に基づく教員自身による "自前" の事前事業も行われた。	希望校へ随時	－	参加 32校 1,558名	－

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
教育普及活動	⑤教師のための美術館活用講座 ミュージアム・セッション2008 特別公演 「触覚からアートに出会う－イタリアの美術館の試み」	8／8	－	120名	講堂
美術大学	区内在住・在勤の成人を対象に、年間で講義・鑑賞会・実技・ワークショップによる美術大学を実施した。	5月～12月	50,000円	60名	－
アートライブラリーの運営	約3,000点の美術図書、雑誌、ビデオテープ等の閲覧に供するとともに、展覧会関連コーナーの設置、他の美術館等の展覧会情報の提供、資料相談等を実施した。	通年	－	11,323名	アートライブラリー室
ボランティア活動	○ボランティアによる美術館ガイドツアー 事前予約制で、全15回実施（登録者402名）	通年／延166日	－	活動者延1,416名	展示室他
	○鑑賞リーダー10周年記念シンポジウム ○鑑賞リーダー10周年記念誌作成	9／7 －	－	87名 －	講堂
催物事業	○プロムナードコンサート				世田谷美術館講堂
	◆伊藤彩子「フォルテピアノ・リサイタル」	5／24	－	197名	
	◆近藤陽一「チューバ・リサイタル」 ピアノ：中村真理	7／27	－	176名	
	◆向山美穂「ピアノ・リサイタル」	9／21	－	191名	
	◆読売日本交響楽団メンバーによる弦楽六重奏 ヴァイオリン：鎌田成光・赤池瑞枝 チェロ：志村崇　渡部玄一 ヴィオラ：生沼晴嗣・小山貴之	11／22	－	190名	
	◆狂乱の時代～1920年代をめぐって～ ピアノ：戸張勢津子・仕入順子 ナレーション田並明日香	1／31	－	168名	
	◆吉成律子 「フルート・リサイタル」 ピアノ：松山玲奈	3／20	－	180名	
	○パフォーマンス				エントランス
	◆トランス／エントランスＶＯＬ．6 「ＹＡＳＵＴＡＫＥＳＨＩＭＡＪＩ２」	8／20	2,000円	127名	
	◆トランス／エントランスＶＯＬ．7 「in statu nascendi」	3／7	2,000円	100名	
	○共催事業				講堂
	◆市川昆監督追悼上映会「京」	4／1	－	80名	
	◆シンポジュウム「パーソナル・ストラクチャーズ」	4／2、3	－	160名	
	◆子どものための物語と邦楽のひととき	6／15	大人1,000円	60名	
	◆電楽Ⅲ「ライブ・エレクトロニクス現在形」	10／19	500円	92名	
	◆燈能　ＡＫＡＲＩＮＯＨ2008	10／31	3,000円	157名	エントランス
	◆㈱日本広告制作協会美術館研修会	3／27	－	40名	講堂
	○さくら祭（年度内２回の実施となった） （くじ引き、チャリティ・ライブ、フリーマーケット等）	4／5～4／6 3／28～3／29	－	延3,900名 延5,000名	世田谷美術館広場他

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
催物事業	○ミュージアム・トークイベント 「チルドレンズ・ミュージアムをつくろう」	6／3		180名	講堂
	○写生術 「photo projects vol. 2 Dwelling 勝又邦彦」	7／21～27		1,015名	区民ギャラリー
	○夏休み、収蔵品展ギャラリーツアー 「物語が聞こえる－ぼくたちのお気に入り」	8／2、9、16、23、30	無料～300円	延56名	世田谷美術館
	○横尾忠則公開制作 「フライデーヨコオ・ニューイヤーヨコオ」	12／5～1／23 延7回	－	延950名	
区民絵画展	区内及び川場村在住・在勤・在学者を対象に絵画作品を募集し、審査の上、入賞（58点）・入選（193点）の作品を区民ギャラリーで展示した。	10／8～12	－	応募数415点	世田谷美術館
区民写真展	区内及び川場村在住・在勤・在学者を対象に写真作品を募集し、審査の上、入賞（78点）・入選（216点）の作品を区民ギャラリーで展示した。	1／4～11	－	応募数1,234点	世田谷美術館
講座室活動	○もっと近づく				宮本三郎記念美術館
	◆線を感じよう－言葉と手でみる美術	5／25	500円	33名	
	◆実技講座－デッサン：人体を描く	7／19	800円	18名	
	◆編み物ワークショップ－暮らしを編みこむ	11／16	1,000円	4組9名	
	◆暮らしの中のタカラモノ－家族の絵巻物作り	11／29	1,000円	14組27名	
	◆文庫本画廊	2／17～22	—	—	
	◆三郎さんの部屋	2／24～3／1	—	—	
	◆文庫本を装丁する	3／7	2,500円	18名	
	◆ギャラリートーク（毎月第2土曜日 14：00～）	通年	—	—	
	○親子で				
	◆親と子の鑑賞教室	8／6、9、10、13	100円	7組18名	
	◆親と子の美術教室　ＶＯＬ．3「葉画家・群馬直美の木の実ワークショップ」	11／15	500円	12組29名	
	○つくる				
	◆美術館のすごし方 「ガリガリ絵はんこワークショップ」	4／25	2,000円	20名	
	◆夏のオープンワークショップ 「フェルトのモービルをつくろう」	8／2～17	100円	163名	
	◆クリスマス・ワークショップ2008 「楽しくペイント植木鉢」	12／21	1,500円	17名	
	○まち				
	◆大蛇を編む－願いを藁にこめて	9／7	1,000円	15組33名	
	◆ハロウィンワークショップ2008「トリックオアトリート！おばけになっていたずらにいくぞ!?」	10／25	500円	15名	

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
講座室活動	○きく「音広場」				宮本三郎記念美術館
	◆春「ロカビリー☆ナイト」	6／1	1,500円	37名	
	◆夏「スクリーン・ミュージックonJAZZ」	8／24	1,500円	55名	
	◆秋「弦楽四重奏の夕べ」	11／24	1,500円	73名	
	◆冬「ウタウアシブエin音広場」	2／14	1,500円	76名	
	◆音と映像で楽しむクラシック講座 ｖｏｌ．8－リヒャルト・ワーグナー作曲「タンホイザー」 ｖｏｌ．9－カール・マリア・フォン・ヴェーバー作曲「魔弾の射手」 ｖｏｌ．10－フランツ・レハール作曲「メリー・ウィドウ」	5／10 9／13 1／10	各回共 500円	50名 50名 53名	
	○地域とともに				
	◆映画会 ①「ベアテの贈りもの」 ②「杉の子たちの50年－学童疎開から明日へのメッセージ」	5／4 7／20	各回共 500円	32名 66名	
	◆講演会「百寿記念・フェアレディＺの父　片山豊氏が語るカーデザインとこれからの自動車産業	11／30	500円	55名	
	◆デジタルカメラで写真を撮ろう	10／4、11	－	34名	
	◆音広場・番外編 篠笛・奥澤神社の杜で	10／16	－	245名	
世田谷美術館友の会への支援	会員組織「世田谷美術館友の会」に対して、企画展ごとに担当学芸員が展示解説を実施した。また、共同でＰＲ事業を実施するなど、活動の側面支援を行った。	通年	－	登録（3月末日現在） 732名	－

Ⅴ　区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営（第５号事業）

財団の設立目的に合致する事業で世田谷区から委託を受けて実施する文化振興事業及び関連施設の管理運営。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
収蔵品展①	○「追悼―上野泰郎展」　出品作品数　21点	(12／11～) 4／1～ 4／4	100～ 200円	750名	世田谷美術館展示室
	○チルドレン・ミュージアム 「物語が聞こえる～ぼくたちのお気に入り～」 出品作品数　91点	6／27～ 9／7	100～ 200円	13,613名	
	○アウトサイダー・アートの作家たち 出品作品数　62点 (特別同時展示)大地の歌を描く人々～ベルギークレアムの画家たち　出品作品数　62点	9／19～ 11／30	100～ 200円	13,448名	
	○「難波田史男展」 出品作品数　78点	12／12～ 2／27	100～ 200円	15,594名	

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
収蔵品展②	○武蔵野－ふたつの憧憬 向井潤吉　師岡宏次　出品作品数　59点	4／5～ 7／27	100～ 200円	2,383名	向井潤吉アトリエ館
	○書籍の仕事　向井潤吉の場合 出品作品数　66点	8／2～ 11／30	100～ 200円	1,993名	
	向井潤吉　生きている民家 －描かれた生活の息吹　出品作品数　43点	12／6～ 3／22	100～ 200円	1,936名	
収蔵品展③	○大東京－清川泰次が写した戦前のメトロポリス－ 出品作品数　93点	4／5～ 7／27	100～ 200円	1,630名	清川泰次記念ギャラリー
	○WORDS OF A PAINTER －清川泰次その思索と絵画－　出品作品数 35点	8／2～ 11／30	100～ 200円	679名	
	○旅とカメラ　－清川泰次が写した昭和日本紀行－ 出品作品数　78点	12／6～ 3／22	100～ 200円	995名	
収蔵品展④	○宮本三郎の線―「最初に引いた一線は、最も新鮮な効果があるものだ」　出品作品数　102点	4／5～ 7／27	100～ 200円	1,371名	宮本三郎記念美術館
	○宮本三郎の日常風景　－暮らしを描く－ 出品作品数　59点	8／2～ 11／30	100～ 200円	1,550名	
	○画家の書棚にみる　－昭和のアート・ブック史－ 宮本三郎文庫より　出品作品数　286点	12／6～ 3／22	100～ 200円	1,282名	
資料収集保管・整理	○世田谷ゆかりの作家や美術界の重要な作家の作品を遺族や区民等からの寄贈により収集した。 ◆作品収集 美術作品の収集－購入：麻生三郎水彩等８点（前年度収集委員会通過作品） 寄贈：田村孝之介作品等50件172点 平成21年３月31日現在、12,047点の作品を登録し保管している。 ◆美術品の修復、保管・整理 世田谷区が所有している美術作品の燻蒸、修復、額装など系統的な作品の整理、保管、管理を行った。 新収蔵品等の燻蒸　84点 貸出に伴う収蔵品の修復や新規収蔵品のマット装、額装改善などを行った。 修復　村井正誠作品等　31点 マット装・額装　駒井哲郎版画作品等　124点 額装改善　野田好子作品等　３点 額新調　村井正誠作品用額等　13点 収蔵品の写真撮影　344点 アウトサイダー・アート、難波田史男、向井潤吉作品等の現物照合を行った。 ◆美術品等の貸出状況 館外への作品の貸出は、24件、260点であった。 内訳は、油彩作品154点、日本画３点、水彩・素描63点、版画７点、写真３点、彫刻30点であり、この中には㈶地域創造の事業協力として展覧会アドバイザーを含めた向井潤吉作品122点の貸出しが含まれている。				世田谷美術館
世田谷区芸術百華事業	○バスツアー「街はミュージアム」 ①「個人美術館への旅」（９／27、11／５） ②「すばらしきコレクションへの旅」（10／10、11／20） ③「文学にふれる旅」（10／15）		各回 1,500円	各回20名	世田谷美術館他
	○世田谷区芸術アワード『飛翔』 表彰式（美術部門　２組推薦）	９／14～20 11／29	－	応募26組	世田谷美術館
	○世田谷アートフリマinセタビ	11／３	－	延1,500名	

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
収蔵品管理システムの運用	パソコンによる収蔵品管理システムのデータ整備、画像入力等の運用管理を行った。	通年	—	—	世田谷美術館
区民ギャラリー	区内在住、在勤・在学者を対象に、創作活動の発表の場として、区民ギャラリーの貸し出しを行った。	通年 154団体	—	98,061名	世田谷美術館
		通年 47団体	—	7,214名	清川泰次記念ギャラリー
講堂	教育・学術等の講演会、シンポジューム、コンサート等文化の振興を目的とする団体に貸し出しを行った。（ただし、美術館が使用していない日に限る。）	19団体	—	1,579名	世田谷美術館
施設維持管理業務	世田谷美術館、向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館の維持管理業務を行った。	通年	—	—	世田谷美術館、向井潤吉アトリエ館、清川泰次記念ギャラリー、宮本三郎記念美術館

Ⅵ　文化振興・交流に関する事業に附帯する物品及び飲食物の販売事業（第６号事業）

施設利用者へのサービス向上や文化振興及び区民の交流活動を支援するため、関連物品や飲食物の販売を行う。

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
レストランなどの運営	世田谷美術館内のレストラン「ル・ジャルダン」は、利用者等への飲食提供サービスおよび結婚式等パーティー（59組）を実施した。	通年 営業310日	—	利用者 49,258名	世田谷美術館
ミュージアムショップの運営	ミュージアムショップにおいて、ゆかりの作家関連商品、オリジナルグッズ等の直接販売、企画展図録、関連グッズ・書籍等の受託販売、他館等でのオリジナルグッズの委託販売を行った。	通年	—	—	世田谷美術館・各分館

◎世田谷文学館

Ⅰ　文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究（第１号事業）

美術作品、文学作品の展示、演劇公演等、質の高い芸術文化を区民に提供する事業及び芸術文化作品や文化振興に係る調査研究事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
企画展	①永井荷風の「シングル・シンプルライフ」展 出品点数　約300点	4／1～ 4／6 （※ 2／16 ～4／6）	200～ 500円	1,904名	世田谷文学館展示室
	②ファーブル昆虫記の世界展 出品点数　約150点	4／19～ 6／8	250～ 600円	8,342名	
	③没後５年　宮脇俊三と鉄道紀行展 出品点数　約400点	7／12～ 9／15	200～ 500円	11,508名	
	④地に伏して花咲く－宮尾登美子展 出品点数　約250点	10／4～ 11／30	250～ 700円	8,997名	
	⑤世田谷の書展 出品点数　約40点	1／10～ 1／25	100～ 200円	1,263名	
	⑥進める荒井良二のいろいろ展 出品点数　約90点	2／14～ 3／29	200～ 600円	11,326名	
企画展 関連事業	①ファーブル昆虫記の世界展　ビデオ上映 「ファーブル＆ファーブル」「世代を超えて」	4／19～ 6／8随時	無料	(8,208名)	世田谷文学館文学サロン ③のみ文学館講義室
	②没後５年　宮脇俊三と鉄道紀行展 ギャラリートーク（全４回） 講師：佐藤喜一（鉄道エッセイスト・第１、２回）、 小池滋（鉄道史学会元会長・第３、４回）	7／26 8／2 8／16 9／6	無料	304名	
	③没後５年　宮脇俊三と鉄道紀行展 鉄道模型運転会（協力T-trak Network）	8／23～ 8／31	無料	2,585名	
	④没後５年　宮脇俊三と鉄道紀行展 トーク＆上映会　出演：真島満秀（鉄道写真家）	9／13	1,000円	158名	
	⑤地に伏して花咲く－宮尾登美子展 映画上映会『鬼龍院花子の生涯』	10／18	500円	108名	
	⑥地に伏して花咲く－宮尾登美子展 映画上映会『陽暉楼』	10／19	500円	98名	
	⑦地に伏して花咲く－宮尾登美子展 映画上映会『櫂』	10／26	500円	194名	
	⑧世田谷の書展 「書に親しもう～世田谷の書展鑑賞会」 講師：泉原壽巖（書家・１／14）、池亀壽泉（書家・１／17）、後藤俊秋（書家・１／18）	1／14 1／17 1／18	書展の観覧料	133名	
	⑨進める荒井良二のいろいろ展 オープニング記念コンサート	2／14	2,000円	168名	
	⑩進める荒井良二のいろいろ展 一日店長のサイン会＆ミニトークショー	2／21 3／8	無料	715名	
	⑪進める荒井良二のいろいろ展 荒井さんとワークショップ	3／22	500円	33名	
調査・研究	世田谷ゆかりの作家に関する基礎調査（居住地および期間等）や作品、収蔵する書簡の翻刻等、調査・研究を行った。				世田谷文学館

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
広報活動	文学館で実施する展覧会や催物、収蔵資料等を周知するために各種広報活動を行った。	－	－	－	－
	「文学館ニュース」の発行　第40号～42号	4・8・12月	－	各12,000部	世田谷文学館他
	「年間カレンダー」の発行	3月	－	38,000部	
	インターネットホームページの運用	通年	－	アクセス数110,487件	
	芦花公園駅に広告看板を掲示	通年	－	－	
	その他、展覧会、催物のポスターやチラシの配布等。新聞、雑誌掲載。新聞・駅貼広告。書店と連携。	－	－	－	
	地域のまつり等、チラシ配布	－	－	6回	
	新聞・雑誌・TV・ラジオ等取材	－	－	695件	

II　区民の自主的な文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業（第2号事業）

区民の自主的な文化創造活動を支援するため、活動場所の提供や講座などを開催する。また、文化芸術への関心を喚起するため教育普及事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
土曜ジュニア文学館	①土曜映画劇場 ―「ファーブル昆虫記」展関連企画 「ミクロキッズ」上映会	4／19	無料	203名	世田谷文学館文学サロン・講義室ほか
	②わくわくワークショップ 落語に挑戦！ 講師：三遊亭圓橘（落語家）	5／10	無料	48名	
	③日本の歳時記シリーズ 『歯固めの日』に親子でチューインガムをつくろう！講師：ロッテ中央研究所所員	6／1	無料	84名	
	④ワクワクワークショップ 「絵本をつくろう！2008」 講師：町田万里子（手作り絵本講師）	7／26、7／27、8／2、8／3	無料	64名	
	⑤文学館たんけん隊　オリジナル扇子をつくろう 「せんす（扇子）、ナンセンス」 講師：ナカノヨーコ（イラストレーター）・岸洋子（ダンサー）・当館学芸員	10／11	無料	20名	
	⑥土曜演芸劇場 「ジュニア寄席」 講師：林家きく麿	11／1	無料	111名	
	⑦にほんごのおもしろさ 「あしたのあたしはあたらしいあたしのし」 講師：石津ちひろ（絵本作家・詩人）	12／6	無料	20名	
	⑧日本の歳時記 「巨大かるたで、百人一首大会だ」	1／10	無料	37名	
	⑨にほんごのおもしろさ　もび　ワークショップ 「パフォーマンスにふれよう」 講師：もび（音あそびパフォーマンスグループ）＋西井夕紀子（もび主宰者）	2／7	無料	17名	

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
土曜ジュニア文学館	⑩土曜映画劇場 「わが心の銀河鉄道　宮沢賢治物語」	3／14	無料	119名	世田谷文学館文学サロン・講義室ほか
	⑪ファーブル昆虫記の世界展関連カプセル玩具マシーンネーミング募集企画	4／19～ 6／8	無料	91名	
	⑫ジュニア堂書店 ジュニア世代の投票によるおすすめ本の紹介コーナー。ベスト10に選ばれた書籍の販売も行った。	7～9月	無料	863名	
	⑬たんけんツアー ジュニア向けのワークシートを作成し、クイズを解きながら館内を探険するツアーを実施。	通年	無料	3,215名	
文学サロン	講演会「奥本大三郎講演会－世田谷空想昆虫館一日館長さん－」 講師：奥本大三郎（フランス文学者）	4／29	500円	86名	世田文学館文学サロン
	講演会「養老孟司講演会」 講師：養老孟司（作家・解剖学者）	5／11	500円	125名	
	第6回大藪春彦記念ミステリー　馳星周　講演会 講師：馳星周（作家）	5／31	500円	69名	
	宮脇俊三と鉄道紀行展　対談「宮脇さんが教えてくれた汽車旅の愉しみ」 講師：酒井順子(エッセイスト)、原武史（日本政治思想史・明治学院大学教授）	7／19	1,000円	159名	
	宮脇俊三と鉄道紀行展　夏休み子ども映画会 「きかんしゃえもん　D51の大冒険」、 「きかんしゃトーマス　魔法の線路[劇場版]」	8／9	無料	92名	
文学サロン	＜世田谷芸術百華エントリープログラム＞ 宮尾登美子　講演会 共催：エフエム世田谷、株式会社世田谷サービス公社	11／23	500円(企画展有料チケット提示で無料)	1,077名	世田谷区民会館ホール
国際交流プログラム	【韓国文化週間】				
	①オープニングコンサート 「朝鮮半島の伝統楽器　ソヘグムと歌のライブ」 出演：ハ・ミョンス、ユン・ヘギョン（ソヘグム奏者）、ルンヒャン（シンガーソングライター）	6／21	500円	85名	世田谷文学館文学サロン
	②講座「ハングルで手紙を書いてみよう」 講師：ソン・ヂョンジュン（彫刻家・韓国語講座講師）	6／22	500円	37名	
	③韓国映画上映会 特集：80年代の青春映画 「飛べよ風船」、「21歳の備忘録」	6／28	無料	86名	
	④トーク＆上映会 「韓国の現代小説－ファン・ソギョン『なつかしの庭』小説と映画の世界」（協力：エスピーオー） 講師：青柳優子（翻訳家・コリアン文庫主催）	6／29	1,000円	81名	
	⑤韓国の詩人による朗読会 共催：ムンパ文学、企画ユニナ	10／25	無料	105名	
	⑥韓国文化週間2009プレイベント 「ファン・ソギョン講演会」 講師：ファン・ソギョン（作家）	3／6	無料	131名	

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
移動文学館	写真展で使用したグラフィックパネルや館蔵資料を区内の小・中学校等で展示した。 「シャーロック・ホームズの倫敦」 「赤毛のアン－プリンス・エドワード島への旅」 「アルプスの少女ハイジ」「宮沢賢治幻想紀行」「クマのプーさんと魔法の森へ」	通年	無料	11,352名 全13回	区立各小中学校
	移動文学館関連朗読パフォーマンス、ブックトークほか	通年	無料	1000名 全6回	
世田谷文学賞	詩・短歌・俳句・川柳・随筆・童話・小説・シナリオの8部門で、区民からの文芸作品の募集と「世田谷文学賞」の顕彰を行った。 「文芸せたがや」28号刊行。	8月募集 3／7 表彰式	—	応募者 (643)名 応募作品 (1,333)編 表彰式 89名	世田谷文学館
ライブラリーの運営	収蔵資料やビデオ資料等の閲覧サービス、文学館ロビーでの絵本コーナーの運営を行った。				
	ライブラリー利用者 一般閲覧利用（収蔵品の図書・雑誌）	通年	—	7,737名 379点	世田谷文学館ライブラリー
	特別閲覧利用（原稿・貴重資料） 原稿：書簡：自筆資料：その他	通年	—	20件 90点	
	視聴覚資料利用状況 日本映画、児童用アニメ、その他のビデオ、CD・カセット	通年	—	1,155点	
	絵本コーナー利用者	通年	－	11,242名	世田谷文学館ロビー
フィルムフェスティバル	①上映会「こころ」	9／20	500円	79名	世田谷文学館文学サロン
	②上映会「おとうと」	9／23	500円	59名	
	③上映会「股旅」「細雪」	9／27	500円	92名	
	④トーク＆上映会「炎上」 出演：藤井浩明（プロデューサー）、 森遊机（映画研究者、プロデューサー）	9／28	1,000円	88名	
	⑤トーク＆上映会「東京オリンピック」 出演：白坂依志夫（脚本家）、黒沢久子（脚本家）、長津晴子（脚本家）	10／4	1,000円	48名	
	⑥上映会「ビルマの竪琴」「犬神家の一族」	10／5	500円	99名	
	⑦トーク＆上映会「黒い十人の女」 出演：石坂浩二（俳優）、小西康陽（ミュージシャン）	10／13	1,000円	116名	
	⑧無声映画鑑賞会「恋の花咲く　伊豆の踊子」 出演：澤登翠（活動写真弁士）	11／9	1,000円	34名	
	⑨映画講座「戦後の日本映画のなかの市川崑」（全4回） 講師：田中眞澄（映画史・文化史家）	9／26、10／10、10／17、10／31	4,000円	37名	世田谷文学館講義室
文学館でお正月！	お囃子、落語、曲芸などの古典芸能のパフォーマンスや、日本伝統の遊びを実施。	1／4	無料	601名	世田谷文学館文学サロン

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
世田谷区教育委員会との共催	【世田谷区教育委員会】				
	子ども読書の日記念講演会	4／27	無料	124名	世田谷中央図書館
	学校ボランティア研修講座（全10回）	10～11月	無料	508名	世田谷中央図書館
	中学生職場体験、職場訪問	7・9・12月	－	20名	世田谷文学館
世田谷区教育委員会との共催	読書活動推進フォーラム	1／31	無料	108名	世田谷文学館文学サロン
	区新人教員研修	8／5	－	112名	
	【芦花小学校】				
	芦花小学校音楽鑑賞会	12／24	－	136名	世田谷文学館文学サロン
	芦花小学校お話フェスタ	3／18	－	395名	
友の会などとの共催	【世田谷文学館友の会】				
	平成20年度友の会総会記念講演会 澤地久枝講演会	4／12	－	172名	世田谷文学館文学サロン、講義室ほか
	菅野昭正館長講演会 「戦後の文学」	6／11	－	69名	
	丸谷才一講演会 「紫の色濃き時-源氏物語千年祭のために」	10／1	－	306名	
	館長対談 「井上靖と現代文学」	12／7	－	68名	
	会員組織「世田文学館友の会」に対して企画展鑑賞会、講座や文学散歩などの事業への側面支援や、共同でＰＲ事業を実施した。	通年	－	2,162名	－
その他共催、支援活動	【おはなし泉】				世田谷文学館文学サロン、講義室、絵本コーナーなど
	ボランティア養成講座 「子育ての中の絵本とおはなし2006」	毎月１回 通年	－	324名	
	夏のおはなし会	7／19	－	201名	
	冬のおはなし会	12／23	－	318名	
	【おはなし会さんぽ】 おはなし会	4月～3月 月１回	－	10名	
	【東京インターアーツ】 冬のアフタヌーンコンサート	12／10	－	46名	
	【朗読の会「スピカ」】 第５回　朗読コンサート「北風吹く日の物語Ⅴ」	12／6	－	150名	
	【一歩会】 横笛と朗読の会	2／4	－	184名	
	【奥沢区民センター】 文学散歩講座（全２回）	5／8 5／15	－	74名	奥沢区民センター 世田谷文学館他

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
その他共催、支援活動	【生涯学習大学自主研究会】 文学講座	6／13 10／17	－	80名	世田谷文学館講義室
	【北沢総合支所地域振興課】 生涯学習セミナー「世田谷ゆかりの文学者たち」	7／15	－	29名	
	【世田谷総合支所地域振興課】 講座「世田谷ゆかりの文学者たち」	9／11	－	25名	
	【粕谷区民センター】 講座「千歳村大学講座	9／17	－	50名	粕谷区民センター
	【烏山総合支所地域振興課】 生涯学習セミナー「世田谷ゆかりの文学者たち」	10／7	－	26名	世田谷文学館講義室
	【中央区教育委員会】 秋の文化財めぐり	11／9	－	22名	
	【三鷹市西社会教育会館】 「宮尾登美子展」と施設見学	11／18	－	35名	
	【京王電鉄　京王エージェンシー】 京王沿線散歩	11／8	－	94名	桜上水、世田谷文学館ほか
	【シニアスクール】 講座「世田谷の文学」	3／10	－	354名	国士舘大学多目的ホール

Ⅴ　区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営（第５号事業）

財団の設立目的に合致する事業で世田谷区から委託を受けて実施する文化振興事業及び関連施設の管理運営。

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
常設展	世田谷を舞台にした文学作品50点の関連資料と、ゆかりの文学者の資料展示を行った。	通年	100～200円	26,914名	世田谷文学館展示室
資料収集事業	世田谷ゆかりの作家の遺族や区民等からの寄贈・寄託による文学資料等の収集を行った。また、保存・展示上、複製の製作が必要な資料はレプリカを製作した。	通年	－	－	－
	文学資料等収集－寄贈：1,639点、購入：87点			1,726点	
	文学資料等寄託（新規）			3点	
	レプリカ製作			4点	
資料等の保管・整理	世田谷区が所有している文学資料の系統的な整理、保管管理を行った。				－
	〈文学資料等特別観覧〉 学術研究、出版、TV放映等	通年	200～4,000円	45点	世田谷文学館
	〈文学資料等貸付状況〉	通年	－	4件 77点	
	〈資料修復〉	通年	－	9点	
収蔵品管理システムの運用	パソコンによる収蔵品管理システムの運用管理を行った。	通年	－	－	世田谷文学館

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
施設維持管理業務	世田谷文学館の施設維持管理業務を行った。 また、講義室の貸し出し業務を行った。	通年	—	利用団体 147団体 利用者数 4,036名	世田谷文学館
世田谷芸術アワード	若手アーティストの育成を目的に「小説」部門で作品を募集	8月	—	10作品が応募されたが該当者なし	
全国子ども文化・芸術サミット	わくわくワークショップにほんごのおもしろさ 「うたのたねを蒔こう！」 講師：天野慶（歌人）	9／7	無料	30名	講義室・野外
世田谷芸術百華2008	ミュージアムバスツアー	10／15 11／15	1,500円	39名	区内美術館
	文学歴史散歩「世田谷線の小さな旅」	11／16	1,000円	46名	世田谷線豪徳寺
	世田谷線の小さな旅マップの配布 （世田谷線沿線イベント、区内出張所、図書館等にて）	9月～11月	無料	15,000部	世田谷区内

Ⅵ　文化振興・交流に関する事業に附帯する物品及び飲食物の販売事業（第6号事業）

施設利用者へのサービス向上や文化振興及び区民の交流活動を支援するため、関連物品や飲食物の販売を行う。

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
ミュージアムショップの運営	企画展関連書籍やグッズ、文学館オリジナル商品の販売を行った。	通年	—	—	世田谷文学館ミュージアムショップ他

◎音楽事業部

Ⅰ　文化芸術の振興に資する展覧会、公演等の企画・実施及び調査研究（第１号事業）

美術作品、文学作品の展示、演劇公演等、質の高い芸術文化を区民に提供する事業及び芸術文化作品や文化振興に係る調査研究事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
演奏会主催公演	①せたがやふれあいコンサート 作曲家や指揮者をはじめとした音楽家の "人となり" を感じられる演奏会。素敵な音楽と少しためになるお話を織り交ぜ、普段あまりクラシックを聴かない方々にも楽しんでもらえる演奏会を実施した。			—	—
	今回はオペラにスポットを置き、第１部でアリアの名曲集、第２部で「コジ・ファン・トゥッテ」のハイライトをコンサート形式で行った。	６／20	2,000～ 4,000円	524名	世田谷区民会館
	②異分野とのコラボレーション企画 異分野とのコラボレーションの中から、世田谷発信の斬新な企画を提案。トークを交えて気軽に音楽を楽しめる演奏会を提供する。			—	—
	美術と音楽～ギリシャからせたがやへ～ 前年のローマ編に続き、国立西洋美術館青柳正規館長と池辺晋一郎音楽監督がトークと映像を交えながらギリシャにまつわる音楽を紹介した。他に出演は、塩田美奈子（ソプラノ）、宮谷理香（ピアノ）、せたがやシンフォニエッタ弦楽四重奏。	11／21	1,500～ 3,500円	189名	玉川区民会館
	③室内楽演奏会シリーズ 世田谷にゆかりのある演奏家を中心とした純クラシックの演奏会。クラシックが好きな区民の皆様をターゲットとし、ニーズに応えられるものを提供する。			総入場者数 ４公演 1,940名	—
	せたがやの演奏家シリーズvol. 1 三浦章広と仲間たち 三浦章広（ヴァイオリン）を中心に、青木篤子（ヴィオラ）、渡邉辰紀（チェロ）、鈴木慎崇（ピアノ）により、池辺晋一郎：やすらぎの翼～弦楽三重奏のために、ブラームス：ピアノ四重奏第一番ト短調作品25などの演奏を行った。	９／28	1,000～ 2,000円	110名	玉川区民会館
	New Year Concert 2009 トルヴェール・クァルテット～in SETAGAYA～ 日本を代表するサクソフォン四重奏団トルヴェール・クァルテット、小柳美奈子（ピアノ）により、ロジャース：マイ・フェイヴァリット・シングス、ホルスト／長生淳：トルヴェールの《惑星》より「彗星」「木星」などの演奏を行った。	１／25	1,000～ 2,000円	642名	世田谷区民会館
	せたがやの演奏家シリーズvol. 2 苅田雅治と仲間たち～クァトロ・ピアチェーリ～ 苅田雅治（チェロ）を中心とした弦楽四重奏団クァトロ・ピアチェーリにより、バッハ：ゴールドベルク変奏曲BWV988、池辺晋一郎：ストラータⅤ～弦楽四重奏のために～などの演奏を行った。	３／７	1,000～ 2,000円	204名	北沢タウンホール

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
演奏会主催公演	④まちかどコンサート 区民のために音楽を身近に接する機会を提供するシリーズで、区内各所で小編成アンサンブルでのライブ演奏会を行った。			総入場者数 4公演9回 1,940名	—
	春のせたがやロビーコンサート 須川展也（サクソフォン）、宮谷理香（ピアノ）により、ガーシュウイン：サマータイム、カザルス：鳥の歌などの演奏を行った。	4／4	—	410名	①区役所第1庁舎1階ロビー ②キャロットタワー26階展望ロビー
	初秋のまちかどコンサート 成城コルティ、成城商店街振興組合、成城南商店街と協力して開催。ブライト・アンサンブル（金管五重奏）により、M.A.シャルパンティエ：「テ・デウム」よりプレリュード、H.フィルモア：ラサス・トロンボーンなどの演奏を行った。	9／23	—	700名	①成城学園前駅北口 ②③成城コルティ2階プラザ
	晩秋のまちかどコンサート 下高井戸商店街振興組合主催「第7回しもたか音楽祭」・アマチュアスペシャルライブにゲストとして出演。ブラスドロップス（金管五重奏）により、I.マクドナルド：組曲「SEA SKETCHES」、H.アーレン：オーバー・ザ・レインボウなどの演奏を行った。	10／25	—	320名	世田谷区民会館 松沢小学校体育館
	クリスマスのせたがやロビーコンサート 小島弥寧子（オルガン）、本岩孝之（カウンターテナー）により、カッチーニ：アヴェ・マリア、モーツァルト：アヴェ・ヴェルム・コルプスなどの演奏を行った	12／17	—	800名	①区役所第1庁舎1階ロビー ②世田谷美術館エントランスロビー ③キャロットタワー26階展望ロビー
	⑤せたがや童謡コンサート プロの歌手による歌唱と、公募による子どもたちのコーラスで贈る世田谷独自の企画。世代を越えて親しみやすい童謡の世界を楽しんでいただく。			—	—
	金川明裕（指揮・合唱指導）、沢崎恵美（ソプラノ）、北澤幸（メゾソプラノ）、田中梢（ピアノ）、公募による区内在住在学の子どもたちにより、童謡名曲集、四季折々の歌、世田谷ゆかりの歌などを歌った。	11／9	500～ 2,000円	156名	烏山区民会館
	⑥せたがや名曲クラシックコンサート 世田谷フィルハーモニー管弦楽団と世田谷区民合唱団（指揮：田中良和）による演奏会。			—	—
	世田谷フィルハーモニー管弦楽団＆世田谷区民合唱団創立20周年記念コンサート　ヴェルディ／レクイエム　創立20周年を記念して、ヴェルディ：レクイエムの演奏を行った。	11／2	2,000～ 2,500円	1,469名	昭和女子大学人見記念講堂

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
演奏会主催公演	⑦親子で楽しむ演奏会 親子で楽しめる親しみやすいクラシックの演奏会。オーケストラ楽器体験ワークショップの発表会も行う。			—	—
	夏休みファミリーコンサート 第１部で子どもたちによるオーケストラ楽器体験ワークショップの発表会、第２部では親子で楽しめる親しみやすいクラシックの名曲の数々を演奏した。出演は池辺晋一郎（おはなし）、山田美也子(司会)、せたがやシンフォニエッタ(オーケストラ)ほか。	8／21	500～ 2,000円	730名	世田谷区民会館
広報事業	館の案内や事業予定及び事業内容等について、ブログ掲載、印刷物等による情報提供を行った。	年間	—	—	—

II　区民の自主的な文化創造活動の支援及び教育普及に関する事業（第２号事業）

区民の自主的な文化創造活動を支援するため、活動場所の提供や講座などを開催する。また、文化芸術への関心を喚起するため教育普及事業を実施する。

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
教育普及活動	①楽器演奏体験企画（ワークショップ）			—	—
	あいのてさんと音で遊ぼうⅡ 前年度に続き、ＮＨＫ教育テレビで活躍した「あいのてさん」野村誠、尾引浩志、片岡祐介による親子参加型のコンサートを行った。「せ」「た」「が」「や」を使った言葉遊びで盛り上がった。	9／7	500～ 1,000円	2回 155名	教育センターぎんが
	②音楽専門教育支援（オーケストラ楽器体験ワークショップ）			—	—
	ジュニアオーケストラ設立を視野に入れ、2008年１月27日より、小学１年生から高校２年生までの総勢65人で12種類の楽器を練習し、「夏休みファミリーコンサート」で練習の成果を発表した。また、３月15日より第２回が実施され、６月21日の「せたがやファミリーコンサート」での発表会を予定している。	①～８／21 ②３／15～	—	①64名 ②120名	船橋公文書庫、弦巻中学校ほか
	③せたがや・アマチュアスペシャルライブ			—	—
	演奏技術に優劣をつけるコンテスト形式ではなく、アマチュア演奏家が、日頃の成果を発表する場として開催。16団体が参加した。	10／25	—	120名	世田谷区民会館
	④シニア憩いの演奏会 団塊の世代、その前後の世代を対象にしたオールディーズを中心とした演奏会を行う。また、世田谷区民吹奏楽団を中心にマーチの名曲等を演奏するブラスの祭典を行う。			総入場者数 （２公演） 520名	—
	せたがやMusicコレクション プロとアマチュアの演奏家でオールディーズを中心に、中高年が親しみやすい曲を演奏した。出演は美歌（ヴォーカル）、沢木順(ナビゲーター)他	3／8	2,000～ 3,000円	231名	北沢タウンホール
	ビバ・ブラス！ マーチの名曲等を演奏するブラスの祭典。出演は安島洋一(指揮)、世田谷区民吹奏楽団、本谷美加子(オカリナ)	3／1	1,500～ 1,800円	289名	玉川区民会館

事業名	事業内容	開催日	利用料金	実績数	実施場所
教育普及活動	⑤小・中学校音楽鑑賞教室の支援 区内小・中学校が音楽鑑賞教室を企画する際に、目的・予算に応じて演奏者を紹介し演奏会を補助する。			4回 947名	—
	烏山中学校芸術鑑賞会 全校生徒を対象に、プレールカルテット（弦楽四重奏）の演奏を行った。	6／27	—	460名	烏山中学校体育館
	ふれあいクラシックコンサート〜ソプラノとハープの調べ〜 駒沢中学校ＰＴＡ・青少年上馬地区委員会が主催。瀬川真未（ハープ）、佐藤優子（ソプラノ）による演奏を行った。	7／5	—	117名	駒沢小学校ランチルーム
	奥沢中学校文化祭 全校生徒を対象に、ブラスドロップス（金管五重奏）の演奏を行った。	10／25	—	220名	奥沢中学校体育館
	烏山中学校卒業生を送る会 卒業生を対象に、瀬川真未（ハープ）、佐藤優子（ソプラノ）による演奏を行った。	3／12	—	150名	烏山中学校ランチルーム

Ⅴ　区から受託する文化振興・交流に関する事業及び施設の管理運営（第５号事業）

財団の設立目的に合致する事業で世田谷区から委託を受けて実施する文化振興事業及び関連施設の管理運営。

事業名	事業内容	開催日等	利用料金	実績数	実施場所
全国子ども文化・芸術サミット	打楽器をたたこう 区内小学生を対象に、打楽器の面白さを体験してもらう親子参加型ワークショップを行った。	9／6	—	50名	宮坂区民センター

3．重要な契約の概要

契約件名	契約年月日	相手方	契　約　の　概　要
世田谷区文化施設の管理に関する年度協定	平成20年4月1日	世田谷区長	1　㈶せたがや文化財団は、世田谷区から次の事業を受託する。 ①世田谷区立世田谷美術館管理 ア）美術品及び美術に関する資料（美術品等）の収集にあたっての調査、研究 イ）美術品等の保管、展示及び利用に関する事務 ウ）美術文化に関する専門的技術的な研究に関する事務 エ）美術文化に関する情報の提供に関する事務 オ）美術教育普及及び創作活動の指導助言に関する事務 カ）世田谷区民絵画展、世田谷区民写真展を実施すること キ）美術館の施設及び設備の維持管理に関する事務 ク）財団に貸与する物品の管理に関する事務 ケ）上記事業の統括に係る運営管理事務 ②世田谷区立向井潤吉アトリエ館管理 ア）美術品等の保管、展示及び利用に関する事務 イ）絵画等に関する調査研究に関する事務 ウ）美術館の施設及び設備の維持管理に関する事務 エ）財団に貸与する物品の管理に関する事務 オ）上記事業の統括に係る運営管理事務 ③世田谷区立美術館分館清川泰次記念ギャラリー管理 ア）美術品等を保管し、展示し、及び利用に供すること イ）美術文化に関する専門的・技術的な調査研究を行うこと ウ）美術文化に関する情報を提供すること エ）美術教育の普及及び創作活動の指導助言を行うこと オ）ギャラリーの施設及び設備を一般の利用に供すること カ）美術文化に係る各種催物を行うこと キ）その他、区民文化の振興に必要と認められる事業 ④世田谷区立美術館分館宮本三郎記念美術館管理 ア）美術品等を保管し、展示し、及び利用に供すること イ）美術文化に関する専門的・技術的な調査研究を行うこと ウ）美術文化に関する情報を提供すること エ）美術教育の普及及び創作活動の指導助言を行うこと オ）ギャラリーの施設及び設備を一般の利用に供すること カ）美術文化に係る各種催物を行うこと キ）その他、区民文化の振興に必要と認められる事業 ⑤世田谷区立世田谷文学館管理 ア）文学に関する資料及び文学作品の収集に関する区の事務の補佐 イ）文学資料等の保管、展示及び利用に関する事務 ウ）文学資料等に関する情報の提供に関する事務・収蔵品管理システムによる情報検索サービス事務 エ）文学館の施設及び設備の維持管理に関する事務 オ）講義室の貸出に関する事務 カ）文学館の事務のために区が貸与する物品の維持管理に関する事務

契約件名	契約年月日	相手方	契　約　の　概　要
			⑥世田谷区立世田谷文化生活情報センター管理 ア）主劇場等以外の施設及び設備使用の申請の受付事務及び当該申請に係る区の事務の補助 イ）施設等の使用料の収納に関する事務 ウ）施設等の使用料の減免及び還付の申請の受付事務並びに当該申請に係る区の事務の補助 エ）そのほか施設等の利用の管理上必要な事務 オ）施設等の維持管理に関する事務 ⑦劇場施設等の利用に関する事務 ア）主劇場等及びその附帯設備並びに電源設備使用の申請の受付事務及び当該申請に係る区の事務の補助 イ）そのほか劇場施設等の利用の管理上必要な事務 ウ）劇場施設等の維持管理に関する事務 2　契約期間は契約の日より平成21年３月31日までとする。

４．登記事項

資産総額の変更

平成20年７月１日　　登記

平成20年３月31日付け　　資産の総額　金1,199,293,460円

理事変更登記

平成20年５月８日　　登記

平成20年３月31日付け　　理事変更（１名退任）

5．理事会・評議員会開催状況

(1) 理　事　会

回　数	開催日時	番　　号	件　　名
第１回	平成20年 ５月29日	議案第１号	平成19年度決算について
		報 告 事 項	指定管理者の選定方法等について
第２回	平成21年 ２月18日	議案第２号	補正予算（第１次）について
		議案第３号	平成21年度事業計画及び当初予算について
		報 告 事 項	職員給与規程の一部改正について
第３回	平成21年 ３月30日	議案第４号	職員就業規程の一部改正について
		議案第５号	非常勤職員規程の一部改正について
		議案第６号	職員退職手当支給規程の一部改正について
		議案第７号	処務規程の一部改正について
		議案第８号	役付理事の互選について

(2) 評議員会

回　数	開催日時	番　　号	件　　名
第１回	平成20年 ５月26日	議案第１号	平成19年度決算について
		報 告 事 項	指定管理者の選定方法等について
第２回	平成21年 ２月18日	議案第２号	補正予算（第１次）について
		議案第３号	平成21年度事業計画及び当初予算について
		報 告 事 項	職員給与規程の一部改正について
第３回	平成21年 ３月30日	議案第４号	職員就業規程の一部改正について
		議案第５号	非常勤職員規程の一部改正について
		議案第６号	職員退職手当支給規程の一部改正について
		議案第７号	処務規程の一部改正について
		議案第８号	役員の選任について

6．役　員　名　簿（平成21年３月31日現在）

【理事：19名・監事２名】

役職名	氏　　名	任　　期	備　　考
理事長	内　田　弘　保	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	元文化庁長官 学校法人二階堂学園常務理事
常務理事	髙　辻　ひろみ	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷文化生活情報センター館長
常務理事	酒　井　忠　康	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷美術館館長
常務理事	菅　野　昭　正	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷区文学館館長
常務理事	齋　藤　洋　子	平成19年６月１日～ 平成21年３月31日	（財）せたがや文化財団事務局長
理　　事	池　松　俊　雄	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	（株）J・MIND　プロデューサー
理　　事	大　山　綱　明	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	（財）日本関税協会副会長
理　　事	小田島　若　子	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	翻訳家（英文学）
理　　事	桑　島　俊　彦	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	全国商店街振興組合連合会理事長 東京都商店街振興組合連合会理事長
理　　事	小　林　善　彦	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	東京大学名誉教授 （財）日仏会館副理事長
理　　事	丹　治　　誠	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	イーバンク銀行（株）特別顧問
理　　事	永　井　多恵子	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	前日本放送協会副会長
理　　事	名児耶　　明	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	（財）五島美術館理事・学芸部長
理　　事	丹　羽　正　明	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	音楽評論家 那須野が原ハーモニーホール館長
理　　事	原　　隆　男	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	弁護士
理　　事	湯　川　れい子	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	音楽評論家
理　　事	吉　田　佐柄子	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	（財）日本グランドワーク協会評議員
理　　事	堀　　恵　子	平成19年６月１日～ 平成21年３月31日	世田谷区生活文化部長
理　　事	若井田　正　文	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷区教育長
監　　事	鈴　木　重　雄	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	公認会計士、税理士
監　　事	梅　村　恒　司	平成19年６月１日～ 平成21年３月31日	世田谷区会計管理者

7．評　議　員　名　簿（平成21年３月31日現在）

【評議員：22名】

氏　　名	任　　期	備　　考
市　川　康　憲	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷区議会議員
岸　　武　志	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷区議会議員
小　泉　たま子	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷区議会議員
桜　井　純　子	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷区議会議員
鈴　木　昌　二	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷区議会議員
藤　井　ま　な	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷区議会議員
秋　山　光　文	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科教授
朝　生　公　章	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	（有）印材舎代表取締役社長
阿　部　信　雄	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	美術評論家
大　笹　吉　雄	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	演劇評論家
勝　部　三枝子	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	（財）消費科学センター理事長
坂　本　　淳	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷美術館友の会会員
佐　藤　菊　夫	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	東京管弦楽団監督、指揮者、世界平和文化財団副総裁
佐　藤　忠　男	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	映画評論家
進　士　五十八	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	東京農業大学造園科学科景観政策学研究室教授
竹　内　修　司	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷文学館友の会会長
田　村　哲　夫	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	学校法人渋谷教育学園理事長、学校法人青葉学園理事長
中　村　　稔	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	詩人、日本近代文学館名誉館長
野　村　万　作	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	狂言師
本　多　一　夫	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	劇場経営
本　江　邦　夫	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	多摩美術大学教授、府中市美術館館長
渡　瀬　靖　夫	平成19年６月１日～ 平成21年５月31日	世田谷パブリックシアター友の会会長

8．財　団　幹　部　名　簿（平成21年３月31日現在）

理　　事　　長		
内　田　弘　保		
職　務　名	氏　　名	備　　考
事　　務　　局		
事務局長	齋　藤　洋　子	常務理事
次　長	柳　原　典　子	（文生センター事業調整部長兼務）
世田谷文化生活情報センター		
館　長	髙　辻　ひろみ	常務理事
副館長	井　出　　茂	
事業調整部長	柳　原　典　子	（事務局次長兼務）
生活工房室長	市　川　美　知	
制作部長（代理）	奥　山　　緑	
技術部長	市　来　邦比古	
世田谷美術館		
館　長	酒　井　忠　康	常務理事
副館長	勅使河原　　純	
事業部長	勅使河原　　純	事務取扱
副参事	張　堂　明　観	
世田谷文学館		
館　長	菅　野　昭　正	常務理事
副館長	稲　垣　　修	
事業部長	生　田　美　秋	
音　楽　事　業　部		
参事（特命担当）	久留島　　了	
事業部長	川　本　　哲	